

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第七回

付託議案

食糧緊急措置令(承諾を求める件)

昭和二十一年七月十日(水曜日)午前十時四十五分開議

出席委員

委員長 成島 勇君
理事 岩本 信行君 理事 坂本 實君
理事 森 幸太郎君 理事 馬越 晃君
理事 細野 三千雄君

大井直之助君

廣川 弘輝君

神戶 眞君

堀川 恭平君

叶 昌君

堂森 芳夫君

的場金右衛門君

井出一太郎君

志賀 義雄君

出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

出席府政委員

大藏事務官 池田 勇人君

農林事務官 大石 倫治君

農林事務官 楠見 義男君

農林事務官 三堀 參郎君

農林事務官 佐野 憲次君

農林事務官 坂田 英一君

農林事務官 蓮池 公咲君

食糧管理局長官 片柳 眞吉君

本日ノ會議ニ付シテ議案

食糧緊急措置令(承諾を求める件)

○成島委員長 開會致シマス 的場

金右衛門君

○的場委員 私ハ生産ノ方面ト、供出

第六類第六號 食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄 第七回 昭和二十一年七月十日

ニ關スル方面ト、配給ニ關スル方面ニ
互ツテ御尋ね致シタイノデアリマス、
生産ニ關シテハ現在農林省ト致シマシ
テハ、農地開拓ニ相當力ヲ入レテ居ラ
レルヤウニ見受けテ居リマスガ、其ノ
實際ヲ現場ニ付テ調査シテ見マス、
非常ニ難シク困難ガ伴フテ居ルヤウニ考
ヘマス、之ヲ御研究デアルカ、又其ノ
點ヲ何トカ是正シテ貰ヘルノカ、此ノ
點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、復員
者、外地カラノ歸還者、サウ云フ同情
スベキ此ノ度ノ戰爭犠牲者達ガ、職ナ
クシテ府縣アタリノ指導ニ依ツテ農地
ノ開拓移民ト云フヤウナコト行ハレ
テ居リマスガ、現在サウ云フ憐れムベ
キ人達ハ大シタ資産ヲ持ツテ居リマセ
ヌ、僅カ千圓バカリノ金ヲ賣ツテ歸ッ
テ、山ノ方ヘ開墾ニ行クト云フコトニ
シマシテモ、開墾ト云フモノハ六箇月
乃至一年先ニナラスト食糧ハ生産出來
ナイノデアリマスガ、其ノ間ノ生活ニ
困リマスノデ、行キタクテモ行ケナイ
ト云フノガ實情ノヤウデアリマス、現
在ノ助成金ト云フモノハ農機具トカ或
ハ小屋ヲ建テルトカ云ツタヤウナコト
ニ對シテハ、或ル程度ノ補助金モアル
ヤウデアリマスガ、其ノ生活ニ困ル
開墾地カラ物ガ出來テソレデ食ツテ行
ケルヤウニナルマデノ生活ノ補助金、
助成ノ途ガ講ゼラレナケレバヤツテ行
ケナイト云フノガ實情デアリマス、是
等ノ點ニ付テ何トカ新タニ御工夫ニナ
ツテ居ルモノカドウカ、是等何トカ
處置シテ貰ヘルノカドウカト云フコト
ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、私共ハ

開墾スル者ガ生活ニ困ラナイヤウニシ
テ開墾ヲサセテ、半年乃至一年先ニ生
産物ガ出來テ、ソレデ營農ガ出來ルヤ
ウニシテ行キマスノニハ、相當國費ヲ
以テ國自體ガ國費デ開墾スルコト云フ
位ナ御決心ガナケレバハ成功シナイ
ノデヤナйка、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ル者デアリマス、其ノ次ニ開墾ガ出來
テモ是ガ營農ノ指導ガ徹底致シマセヌ
ト、折角開墾シテモ再ビ荒地ニナル
縣念ガアルノデアリマス、從來トモ
良イ地面デ收穫ノ上ル土地デアリマス
ト、取殘サレテ居ナイノデアツテ、此
較的條件ノ惡イ所ガ今開墾スル土地デ
アリマス、其ノ條件ノ惡イ所ヘ、農業
ニ不慣レナ者ヲ移植シテ、ソレガ農業
デ生活ガ出來ルヤウニシマスノニハ、
營農指導ト云フコトニ重點ヲ置カナ
ト、切角開墾シテモ再ビ荒地ニナ
ル、是ハ實例ノ示ス所デゴザイマス
ガ、此ノ營農指導ニ付テ私共ノ開キマ
ス所ニ依リマス、農業開拓營農ノ方
ヘ一名カノ營農指導者ヲ置クト云フヤ
ウナコトニナツテ居ルヤウニ聞キマス
ガ、他ニ指導者ヲ持タナイ開拓營農
ガ、タツタ一人ノ指導者ヲ以テ、斯ウ
シタ大變困難ナ營農指導ヲ立派ニヤツ
テ行ケルカドウカ、私共ハ從來指導組
織ヲ持ツテ居ル系統農業會ノヤウナモ
ノヘ、或ル程度ノ人ヲ與ヘ、金ヲ與ヘ
テオヤリ下サレバ、從來ノ指導者ヲ活
用スルコトニモナツテ、總テノ點ガ立
派ニ行クノデハナイカ、營農指導ト云
ツテモ、農機具ノコトヤ、植物ノコト
ヤ、其ノ他ノコトマデ一切御世話ヲシ

ツ、指導ヲシナケレバナラヌノデ、物
ノナイモノヲ揃ヘテヤルト云フコトデ
サヘモ並大抵ノコトデハナイト思ヒマ
スガ、更ニ不慣レナ者ヲ條件ノ惡イ所
デ農業ヲ指導シヨウト云フノデアリ
マスカラ、是ニハ唯一名ノ指導者ヲボ
ツント持ツテ行ツテモ到底不可能ナコ
トデハナイカ、是モ營農ナドヘ置カナ
イデ、別ニ方法ヲ御考ヘニナツタ方ガ
宜イノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考
ヘル譯デスガ、ソレニ付テハドウ云フ
御考ヘデアリマスカ

三番目ニ只今開拓サレテ居リマス場
所ハ高イ山ノ方ニバカリ氣ガ付イテ、
平地林デ比較的便利ナ所デ、土地ノ肥
沃ナ所ニ相當取リ殘サレタ土地ガアル
ノデハナイカ、殊ニ個人有ノ平地林ト
云フモノハ手ガ著イテキナイヤウニ
思ヒマスガ私共、云フ高山地帯ニ於
ケル農業ト云フモノハ極メテ範圍ガ狹
イ困難ガ伴フノデ、サウ云フ所ヨリ
モ寧ロ平地林ニ著目ヲシ、耕地トナリ
得ベキ土地デアラナラバ個人有デアツ
テモ、之ヲ強制的ニ取上ゲテ耕地ニス
ルヤウナコトヲ御考ヘニナル意思ハナ
イカドウカ、斯ウ云フコトヲ御伺ヒ
シタイノデアリマス、先ツ耕地開拓ノ
問題ダケニ付テ一應御説明ヲ戴イテ、
後續ケタイト思ヒマス

○補見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
第一點ノ海外カラノ復員者或ハ戰災者
等デ、特ニ極端ニ資力ノ薄弱ナ人々ニ
對シマス入植ノ問題デアリマスガ、
此ノ點ハ只今の場サンカラ御話ニナリ
マシタヤウニ、實際問題トシテ入植ヲ

希望致シマシテモ中々サウ云フ方面ノ
不十分ナ爲ニ、思フヤウニ參ラナイト
云フヤウナ事態モ御話ノ如クアルノデ
アリマス、隨ヒマシテ海外復員者或ハ
滿洲關係ノ人々等ニ對シマス入植コト
付キマシテハ、昨日モ此ノ席デ申上ゲ
マシタ通りデアリマスガ、尙ホ是等ノ
戰災者デアリマストカ、復員者等デ資
力ノ非常ニ薄弱ナ方々ニ對シマシテ
ハ、一時例ヘバ開拓増産隊ニ收容致シ
マシテ、入植者トシテノ資格ナリ、或
ハ實力ヲ付ケテ行クト云フヤウニ致シ
マスト同時ニ、他面ソレ等ノ人々ヲ以
テマシテ歸農組合ト申シマスカ、サウ
云フヤウナ組織デ入植ヲ圖ツテ行ク、
斯ウ云フ方向ニ進ンデ行キタイト思フ
ノデアリマス、勿論サウ云フ風ニ致シ
マシテ入植ヲ致シマス場合ニ於ケル、
例ヘバ住宅ノ施設デアリマス、
カ、大家畜、大農具ト云フヤウナモノ
ニ付キマシテハ、事情ノ許ス限り開拓
ノ事業主體ヲシテ是等ノ施設ヲ講ジ、
或ハ貸與セシメルト云フヤウナ方法ヲ
講ジマスト同時ニ、大體現在ノ所豫定
致シテ居リマスノハ、入植者ニ付キマ
シテ一戸當リ一萬圓程度ノ融通ヲ致ス
ト云フ方法デ現在進ンデ居ルヤウナ狀
態デアリマス、尙ホ施設ノ問題ニ付キ
マシテ、特ニ國營ノ問題ニ付テ御意見
モアツタノデアリマスガ、私共モ開拓
地ニ付キマシテハ大規模デアリ、且工
事ノ極メテ困難デアルモノニ付キマシ
テハ國ガ直接國營事業トシテ致シマス
ルカ、或ハ適當ナ團體ニ委託ヲシテ、
全額此ノ經費ヲ國庫デ持ツテ開拓事業

ヲヤツテ行クト云フ途ト、モウ一ツハ比較的小規模ノモノニ付キマシテハ、是ハハの場サシモ御承知ノヤウニ、例ヘバ農業會其ノ他地方ノ適當ナ團體ニ於テヤツテ戴キマシテ、之ニ對シテ補助ヲ講ズル、斯ウ云フ方法ヲ現在進ンデ居ルノデアリマス。

御尋ネノ農業會方面ニ於ケル指導ノ問題

御尋ネノ農業會方面ニ於ケル指導ノ問題デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、小園地ニ付キマシテハ、是ハ全體トシテハ面積ハ非常ニ多イノデアリマシテ、本年モ八萬町歩以上ノモノガ之ニ依ツテ開拓セラレコトヲ期待致シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ農業會ガ事業主體トナリマシテ開拓ヲ致シタ曉ニ於テ、將來ハ結局其ノ農業會ノ構成員トシテ入植者ノ方々ガ農業經營ニ參加スル譯デアリマスノデ、先程來申シマスヤウニ、農業會モ色々各方面ノ指導施設ト合セテ特ニ力ヲ入レテ戴キタイ、現在十分デハ、ゴザイマセヌ

ノデアリマス、是等ノ點ハ是カラノ第二次土地開放ノ問題ト關聯ヲ致シマシテ、ソレ等ト併セテ私共ト致シマシテハ十分考ヘテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ存ジテ居ル次第デアリマス。

○的場委員 次ニ肥料ノ關係ニ付テ少シ御伺ヒシタイと思ヒマス、肥料ノ問題ニ付テハ前ノ質問者カラ色々質問ガアツテ、大體ハ承知致シマシタノデ、重複スル點ハ省クコトニ致シマスガ、九州ノ南部ニ於キマシテハ、化學肥料固ヨリ大事デアリマスケレドモ、骨粉肥料ガ戰爭前ハ米、麥種等ノ主要ナ肥料ニ相成ツテ居ッタノデアリマス、所ガ支那事變以來支那ノ生骨ガ入ツテ來マセヌノデ、年々骨粉ガ少クナツテ以來、麥種ト水陸稻ハ減產又減產ノ一途ヲ辿ツテ居ルノデアリマス、此ノ支那ノ生骨輸入ト云フコトニ付テ、之ヲ促進シテ戴クヤウナ御考ヘハナイモノデスカ、化學肥料ト雖モ今マデ御覽キシマス、サウ速急ニ増產ガ出來ナイヤウニ聽キマスノデ、之ヲ補フ意味ニ於テモ最モ必要ナコトデハナイカ、殊ニ九州南部ニ於テハ、他ニ見ラレナイ特殊ノ氣候ガ現ハレテ來ルコトモ農林省當局ハ御承知デアラウト思ツテ居リマス。

技術ノ保有者ガ相當アルと思ヒマスガ、之ヲモウ少シ重用スルヤウニ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ農業ノ面ニ貢獻セシムルヤウニ、唯一部ニソレガ使ハレテ居ツテハ勿體ナイと思フヤウナ面ガ相當アルノデハナイイカと思ヒマスガ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ廣ク普及セシムルヤウナ何等カノ上面ヲ今後サレモノデアアルカドウカ、私共ハ斯ウ云フコトニ氣ヲ付ケテ戴キタイト希望スルモノデアリマスガ、私共ノ希望ガ充サレルヤウナ何カ方法ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、民間ノ發明發見ト云フヤウナモノニ付キマシテ獎勵ヲナサルヤウニ、サウ云フモノモ非常ニ國家ニ貢獻スルモノデアアルカラ大事ニ扱ツテ貰フヤウ工夫ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、尙ホ此ノ科學技術ヲ農業ノ面ニ浸潤徹底スルヤウニスル爲ニハ、指導者ノ充實ガナケレバナラヌと思ヒマスガ、現在地方ニ於ケル農業技術者ハ極メテ貧乏デアリマシテ、而モ之ヲ充實シヨウトシテモ地方農業會ナドハ金ガナイト云フノガ實情デアリマス、現在八十倍ノ經費ヲ要スルノデ、收入モ十倍ナケレバ入ラレナイ結果ニナツテ居リマスガ、此ノ面ニ國庫ハ相當ノ用意ガアラレルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、以上肥料ノ關係ト科學技術ノ關係ニ付テ御伺ヒ致シマス。

○橋見政府委員 第一點ノ支那ノ獸骨ノ輸入問題デアリマスガ、是ハ現在マデハ礦石ノ輸入ニ統制ノ輸入等ニ關シマシテ先ツ全力ヲ注イデ居ルヤウナ狀況デ、此處マデ至ツテ居リマセヌ、併シ御話ノ點ハ能ク今後ノ努力ニ俟チタイト存ズルノデアリマス、餘肥

ヲ致シマスルト同時ニ、新シク入植ヲ致シマスル人々ニ對スル色々ノ講習、養成、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテモ現在御承知ノヤウニ努メテ居ル次第デゴザイマス。

御尋ネノ農業會方面ニ於ケル指導ノ問題デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、小園地ニ付キマシテハ、是ハ全體トシテハ面積ハ非常ニ多イノデアリマシテ、本年モ八萬町歩以上ノモノガ之ニ依ツテ開拓セラレコトヲ期待致シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ農業會ガ事業主體トナリマシテ開拓ヲ致シタ曉ニ於テ、將來ハ結局其ノ農業會ノ構成員トシテ入植者ノ方々ガ農業經營ニ參加スル譯デアリマスノデ、先程來申シマスヤウニ、農業會モ色々各方面ノ指導施設ト合セテ特ニ力ヲ入レテ戴キタイ、現在十分デハ、ゴザイマセヌ

其ノ次ニ自給肥料増產ニ付テ色々御心配願ツテ居リマスガ、私達ハ綠肥ノ増產ト云フコトガ手取早イ自給肥料デハナイイカと思ツテ居リマス、所ガ綠肥ノ種ガナイノデ、是ガ又出來ナイ、大豆トカ「ザートウイケン」トカ、其ノ他ノ朝鮮、滿洲方面ノ綠肥種ノ輸入ト云フコトニ付テ何トカ手付ケラレテアルモノカ、又今後トシナニナル御方針デアリマスガ、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、更ニ畜產關係ヲ盛ンニ

其ノ次ニ農業ニ關スル技術ニ付キマシテハ、從來農家ト稱スル隱レタル技術ノ保有者ガ相當アルと思ヒマスガ、之ヲモウ少シ重用スルヤウニ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ農業ノ面ニ貢獻セシムルヤウニ、唯一部ニソレガ使ハレテ居ツテハ勿體ナイと思フヤウナ面ガ相當アルノデハナイイカと思ヒマスガ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ廣ク普及セシムルヤウナ何等カノ上面ヲ今後サレモノデアアルカドウカ、私共ハ斯ウ云フコトニ氣ヲ付ケテ戴キタイト希望スルモノデアリマスガ、私共ノ希望ガ充サレルヤウナ何カ方法ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、民間ノ發明發見ト云フヤウナモノニ付キマシテ獎勵ヲナサルヤウニ、サウ云フモノモ非常ニ國家ニ貢獻スルモノデアアルカラ大事ニ扱ツテ貰フヤウ工夫ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、尙ホ此ノ科學技術ヲ農業ノ面ニ浸潤徹底スルヤウニスル爲ニハ、指導者ノ充實ガナケレバナラヌと思ヒマスガ、現在地方ニ於ケル農業技術者ハ極メテ貧乏デアリマシテ、而モ之ヲ充實シヨウトシテモ地方農業會ナドハ金ガナイト云フノガ實情デアリマス、現在八十倍ノ經費ヲ要スルノデ、收入モ十倍ナケレバ入ラレナイ結果ニナツテ居リマスガ、此ノ面ニ國庫ハ相當ノ用意ガアラレルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、以上肥料ノ關係ト科學技術ノ關係ニ付テ御伺ヒ致シマス。

○橋見政府委員 第一點ノ支那ノ獸骨ノ輸入問題デアリマスガ、是ハ現在マデハ礦石ノ輸入ニ統制ノ輸入等ニ關シマシテ先ツ全力ヲ注イデ居ルヤウナ狀況デ、此處マデ至ツテ居リマセヌ、併シ御話ノ點ハ能ク今後ノ努力ニ俟チタイト存ズルノデアリマス、餘肥

一面斯ウ云フ所デ指導者ノ短期ノ養成

御尋ネノ農業會方面ニ於ケル指導ノ問題デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、小園地ニ付キマシテハ、是ハ全體トシテハ面積ハ非常ニ多イノデアリマシテ、本年モ八萬町歩以上ノモノガ之ニ依ツテ開拓セラレコトヲ期待致シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ農業會ガ事業主體トナリマシテ開拓ヲ致シタ曉ニ於テ、將來ハ結局其ノ農業會ノ構成員トシテ入植者ノ方々ガ農業經營ニ參加スル譯デアリマスノデ、先程來申シマスヤウニ、農業會モ色々各方面ノ指導施設ト合セテ特ニ力ヲ入レテ戴キタイ、現在十分デハ、ゴザイマセヌ

其ノ次ニ自給肥料増產ニ付テ色々御心配願ツテ居リマスガ、私達ハ綠肥ノ増產ト云フコトガ手取早イ自給肥料デハナイイカと思ツテ居リマス、所ガ綠肥ノ種ガナイノデ、是ガ又出來ナイ、大豆トカ「ザートウイケン」トカ、其ノ他ノ朝鮮、滿洲方面ノ綠肥種ノ輸入ト云フコトニ付テ何トカ手付ケラレテアルモノカ、又今後トシナニナル御方針デアリマスガ、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、更ニ畜產關係ヲ盛ンニ

其ノ次ニ農業ニ關スル技術ニ付キマシテハ、從來農家ト稱スル隱レタル技術ノ保有者ガ相當アルと思ヒマスガ、之ヲモウ少シ重用スルヤウニ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ農業ノ面ニ貢獻セシムルヤウニ、唯一部ニソレガ使ハレテ居ツテハ勿體ナイと思フヤウナ面ガ相當アルノデハナイイカと思ヒマスガ、サウ云フモノヲ取リ上ゲテ廣ク普及セシムルヤウナ何等カノ上面ヲ今後サレモノデアアルカドウカ、私共ハ斯ウ云フコトニ氣ヲ付ケテ戴キタイト希望スルモノデアリマスガ、私共ノ希望ガ充サレルヤウナ何カ方法ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、民間ノ發明發見ト云フヤウナモノニ付キマシテ獎勵ヲナサルヤウニ、サウ云フモノモ非常ニ國家ニ貢獻スルモノデアアルカラ大事ニ扱ツテ貰フヤウ工夫ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、尙ホ此ノ科學技術ヲ農業ノ面ニ浸潤徹底スルヤウニスル爲ニハ、指導者ノ充實ガナケレバナラヌと思ヒマスガ、現在地方ニ於ケル農業技術者ハ極メテ貧乏デアリマシテ、而モ之ヲ充實シヨウトシテモ地方農業會ナドハ金ガナイト云フノガ實情デアリマス、現在八十倍ノ經費ヲ要スルノデ、收入モ十倍ナケレバ入ラレナイ結果ニナツテ居リマスガ、此ノ面ニ國庫ハ相當ノ用意ガアラレルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、以上肥料ノ關係ト科學技術ノ關係ニ付テ御伺ヒ致シマス。

○橋見政府委員 第一點ノ支那ノ獸骨ノ輸入問題デアリマスガ、是ハ現在マデハ礦石ノ輸入ニ統制ノ輸入等ニ關シマシテ先ツ全力ヲ注イデ居ルヤウナ狀況デ、此處マデ至ツテ居リマセヌ、併シ御話ノ點ハ能ク今後ノ努力ニ俟チタイト存ズルノデアリマス、餘肥

ノ問題モ、御承知ノヤウニ從來ハ滿洲大豆ヲ「萬」(程度)ノモノハ糶肥用トシテ、特ニ九州方面ニハ注ギ込シテ居ツタノデアリマスガ、最近ノ情勢ヲ結局差當リ之ヲ期待スルコトハ困難デアリマス、勿論滿洲或ハ朝鮮等カラ輸入ノ途ガ開ケマシタ場合ニハ、當然其ノ方面ニ向ケラレル譯デアリマスガ、差當リ困難ナ情勢デアリマスノデ、特ニ内地ニ於ケマシテ原種圃、採種圃、斯ウ云フ方面ノ擴充ニ努力ヲ、致シテ参リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、科學技術導入ノ問題デアリマスガ、例ヘバ最近モ甘藷苗ニ對シマスル電力利用ト云フヤウナコトニ非常ナ大キナ力ヲ費ゲテ居リマスルシ、又農機具等ニ對シマシテモ、科學的ニ之ヲ導入スルコトガ極メテ大キナ效果アリマス、コトハ申スマデモナイノデアリマス、隨テ斯ウ云フ面ニ對シマシテハ現ニ少額ナガ豫算モ計上致シテ居ルノデアリマスガ、今後ノ農業經營ノ革新ノ爲ニハ、此ノ方面ニ特ニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、技術尊重ノ問題ハ、結局特ニ農業ノヤウナ方面デハ、サウ云フコトハ勿論必要デアリマシテ、農林省ト致シマシテハ、從來サウ云フ點ハ特ニ考ヘテ参ツタ積リデアリマス、技術者ノ方々デ部長長トシテ活躍ヲ顯ヒマシタ方モ少クナイノデアリマス、地方ノ方ハ現實ニハ中ソコマデ参ツテ居リマセヌガ、要シマスルニ技術ニ對シテ非常ニ理解ノアル方々、文官事務系統ノ方デアリマシテモサウ云フ風ナ人々ニ手傳ツテ戴クヤウニ、農林省ト致シマシテモ常ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、篤農家引出ノ問題デアリマスルガ、此ノ問題ハ技術者邊ノ問題トモ關聯ヲ致シテ居

ルノデアリマスガ、先程御尋ネナリマシタ農事試驗場ノ擴充、或ハ末端マデ技術ヲ透サセル方式ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ農業ノ技術者ノ方策ト致シマシテ、技術者ノ人々ノ所謂隣組ト申シマスカ、町村ノ技術者ノ人々、又之ニハ篤農家ノ人々モ加ハツテ實ヒマシテ、郡單位ニ數箇所ノ模範的ナ實驗農場式ノモノヲ作リマシテ、農事試驗場等ノ研究ノ成果ヲ其ノ實驗場ニ移シ、又下カラ、技術ノ色々ナ體験ヲ其處ニ持寄リマシテ、お互ニ技術ヲ鍊磨シ、又技術ヲ透シテ參ル方策ヲ豫算トシテ考慮シテ居ルノデアリマシテ、此ノ面ニ付キマシテハ大凡八千萬圓程度ノモノヲ年間豫算トシテバ、考慮ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、技術指導者、特ニ農業會ノ技術指導員ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ從來モ先程申上ゲマシタヤウニ、相當多額ノ經費ヲ年々増加シナガラ参ツタノデアリマスガ、一面ニ於テ事務ガ煩雜デアリマシタ爲ニ、技術指導員ガ本來ノ技術ニ専念スルコトガ出來ズ、事務ノ方ニ忙殺サレタト云フヤウナ弊害モアツタノデアリマス、段々ト此ノ機構ガ變リ、又國ノ色々ノ註文モ變ツテ參ツテ居ルヤウナ狀態デアリマスノデ、又人モ復員其ノ他テ殖エテ参ツテ居リマスノデ、是カラノ技術指導員ハ本來ノ技術面ニ専念シ得ルモノデアルト思フノデアリマス、同時ニ國ト致シマシテハ、勿論是ハ財政ノ觀點モゴザリマスガ、財政ノ許ス限リ、又關係方面ノ事情ノ諒解ノ付キマス限リ、是等ノ點ニ付キマシテハ助成ノ途ヲ繼續シテ参リタイ、斯様ニ考ヘル次第デアリマス、○の場委員 農業技術ト云フモノヲ尊重シテ戴クト云フコトニ付テハ、更ニ

一般ノ御配慮ヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス、農産部長トカ開拓部長ト云フヤウナ椅子ニ全ク素人ノ、若イ大學ヲ出タバカリノ人ガヤツテ來テ、邪魔ニハナレケレドモ、地方デハ爲ニナラナイ課長ガ相當ニ多イト云フコトヲ私共ハ見テ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ更ニ御配慮ヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス、其次ニ戰災者農家ノ問題デアリマス、南九州ノ方ハ非常ニ空襲ガ激シカツタノデ、町ト云フ町ハ殆ドヤラレマシタ上ニ、農村部落ガ非常ニ多數戰災ノ爲ニ焼カレタ、農村部落ハ空襲ノ危険ガナイト云フノデ、町ノ者モ荷物ヲ疎開シテ預ケテアツタ位デアリマスカラ、農村ノ者ハ農機具其ノ他ノ農業必需品ハ持出テ居ナイノデ、殆ンド丸焼ニナツテ居ル、是等ノ戰災者農家ニ對シテ特別ノ農機具、衣料等ノ配給ヲ御配慮願ツテ居ルカドウカ、現在我々ガ見ル所デハ、ドウモソレガ出來ナイノデ、非常ニ戰災者農家ト云フモノハ困ツテ居ルヤウデアリマス、是ハ今カラ開拓シテ移植スルコトヨリモ、耕地ダケハ立派ニアルノデスカラ、之ニ農機具ヲ與ヘ、農業ノ出來ルヤウナ形ニシテヤレバ、直チニ増産ガ出來マスカラ、増産ノ上ニハ最も效果的ナコトデアルノニ、鐵ガナイ、鋤ガナイ、鎌ガナイト云フヤウナ備レナ實情ニアリマス、是ハ能ク御分リニナツテ居ナケレバ、係官ヲ派遣シテ具サシ御調査ヲ願ヒタイと思ヒマス、御調査ニナツテ居ルナラバ、之ニ付テ一ツ御同情アル御處置ヲシテ戴キマスヤウニ、特ニ御願ヒテ申上グル次第デアリマス、ソレカラ是ハ多年ノ問題デアリマスガ、食糧増産ニ關スル獎勵金トカ補助

金ト云フヤウナモノノ交付ガ、政府ハ吳レルト言ヒナガラ、一年先ニモウ増産ガ濟ンダ後デ、補助金ヲ獎勵金ガ來マスノデ、ソレハ何ノ金デアルカ百姓ハサツバリ分ラナイ、吳レルト云フ時ニハ何カ話ガアツテ宣傳ガアルガ、ソレハ嘘ダ嘘ダト考ヘテ居ル、金ガ來タ時ニハ、何ノ爲メノ金ガ來タノカ分ラナイト云フヤウナ行キ方デアルヤウデアリマスガ、此ノ補助金ナリ獎勵金ナリ折角御使ヒニナルナラバ、金ヲ出シタカラ責任ガ濟ンダト云フヤウナ恰好ヲシナイデ、一ツ其ノ金ガ最も有效ニ食糧増産ノ面ニ貢獻スルヤウニ、前以テヤル位ノ處置ヲシテ戴キタイと思ヒマスガ、是ハ今マデ通りシカ出來ナイモノカ、何カ新タニ今後效果ノ二使ヘルヤウナ方法ヲ御考ヘニナツテ居ルモノデアルカ、私達ハ村ナリ、縣ナリヘ、是ダケノ金デ是ダケノ増産ヲセヨト言ツテ、餘リ小サナ條件ヲ付ケズニ前金ヲ吳レル位ニオヤリニナルナラバ、確カニ效果ガ上ルダラウ、折角莫大ナ金ヲ御使ヒニナルノニ何ニモ役ニ立タナイト云フコトヲ常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルモノデアリマス、之ニ付テ御所見ヲ御伺ヒシタイと思ヒマス、

尙ホ増産ノ面ニ付テモウ一ツ御願ヒシテ置キマスノハ、支那事變以來風水害ガ非常ニ多クテ、折角作況ガ好ク出來タモノガ、一朝ニシテ潰レテシマフ實情ニアリマス、之ニ付テハ非常ニ残念ニ考ヘテ居リマスガ、風ガ吹イテモノハ潰レタモノ、或ル程度増産ノ出來ルモノハ潰レタデアラウト考ヘマス、其ノ安全ヲ諸類ニ付テ今少シ——今マデ非常ニ努力シテ戴イテ居リマスガ、此ノ上ナガラ何トカ工夫シテ戴クヤウニ御願ヒラシタイ、特ニハ收穫ノ時一週ニ諸類ガ殺到致シマス腐敗セシムル缺點ガアリマスノデ、收穫ニ於ケル一週ニ殺到スル諸類ヲドシナニ處理スルカト云フコトガ伴ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、其ノ爲ニハ澱粉ニスル、或ハ切干ニスルト云フヤウナコトデ、澱粉工場等モ相當昨年獎勵ナサツタヤウデアリマスガ、是モ資材ノ關係デ唯ヤリ掛ケテ其ノ儘ニナツテ居ルモノガ相當ニアルヤウデアリマス、耕地ヲ潰シテ敷地ハ決定シテ居ルケレドモ、其ノ澱粉工場ガマデ完成シナイト云フヤウナモノガ相當ニアルヤウデアリマスガ、ア、云フモノニ付テハドシナニナル御積リデアルカ、尙ホ此ノ諸類ノ取扱ニ付テ、序デニ御尋ネ申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、諸類ノ取扱ニ付テハ諸類統制會社ト云フモノガアツテ之ヲ取扱ツテ居リマスガ、帳面ノ上ダケノ取扱ヒデアツテ、諸ノ現實ニ取扱フ會社デハナイヤウデアリマス、斯ウ云フモノヲ置イテ諸類ノ取扱ガ圓滿ニ行カウトハ思ヒマセヌガ、ヤハリ此ノ諸類統制會社ト云フヤウナモノヲ存續サレル御意思デアルカドウカ、私共ハ直チニ斯ウ云フ不要ナ國策會社ハ廢メテ、實際諸類ヲ取扱ヒ、此ノ腐敗ヲ防止シ得ル機構ノモノガ取扱フヤウニシタ方宜イノデハナイカ、唯帳面ノ上ダケノ取扱ニシテ、手數料ダケヲ諸類統制會社ト如キハ、寸刻モ置イテナラナイ不要會社デアルト考ヘマスガ、之ニ付テ農林當局トシテハドンナニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマスカ、生産ニ付テハ以上御尋ネ致シマス、○補見政府委員 第一點ノ戰災農家ニ對シマス衣料、農機具等ノ特配ノ問題デアリマスガ、私ノ承知シテ居リマス限リニ於ケマシテハ、衣料ハ戰災者ニ

付キマシテハ一般都市民並ニ農家ニハ同様に現在優先のニ一殆ど衣料ノ如キハ、戰災者並ニ農村見返用物資ニ限定シテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、農機具ニ付キマシテハ、マダサウ云フ點ニ付テハ私ヨク承知致シテ居リマセヌノデ、至急サウ云フ點ハヨク實情ヲ聽キマシテ、出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

補助金ノ交付ヲ出來ルダケ早クヤレト云フコトハ、豫メ言ハレテ居ツタコトデアリマスシ、私共モ其ノ必要ハ痛切ニ感ジテ居ツタ所デアリマシテ、隨テ本省カラハ出來ルダケ早ク、殆ど年度初メニ一括致シマシテ地方ニ流シテ居ルノデアリマスガ、是ガ地方ニ行キマシタ場合ニ、縣或ル程度温メ、或ハ又團體或ル程度温メ、隨テ末端ノ農家ノ手ニ行キマス場合ニ、御説ノ如ク非常ニ遅レルト云フヤウナコトガ聞々アツタノデアリマス、其ノ點ハ常ニ注意ハ意ヲナシテデアリマスガ、尙ホ不十分ノ點ガ多クアラウト思フノデアリマシテ、農林省カラ地方ニ参リ、ソレカラ下ニ行ク監査ト云フ點ニ付テハ、今後特ニ一層注意ヲシテ参リタイト考ヘル次第デアリマス

風水害ノ問題ニ關聯シテ諸類ノ御諒ホデアリマスガ、現在モ御承知ノヤウニ、此ノ點ニ付テハ相當力ヲ入レテ居ルノデアリマスガ、結局特ニ本年ノ如キハ諸ニ依ツテ此ノ端境期ヲ切抜ケルト云フヤウナコトモ必要ニナル譯デアリマシテ、現在ノ變遷方策ト致シマシテハ、結局根本ハ健苗——苗ニアル譯デアリマスカラ、苗ノ育成配付ト云フコトニ特ニ力ヲ注イデ現在参ツタノデアリマスガ、處理加工ノ問題ニ付キマ

シテハ、今後ノ問題トシテ、相當是ハ力ヲ入レテ行カナケレバナラヌ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、澱粉工場ノ御話モゴザイマシタガ、昨年ハ農業會ヲ主ニ致シマシテ、全國ニ五百工場ノ澱粉工場ノ増設ヲ致シタノデアリマス、一部御話ノ如ク未だ完成ノ所モアリマスガ、此ノ設置ダケハ相當成功ヲ收メタモノト考ヘテ居ルノデアリマシテ、尙ホ一部未だ完成ノ所ガゴザイマスレバ、是等ハ至急ニ完成ヲ致サセルヤウニ引續キ努力ヲ致シタイト思フテ居ルノデアリマス、更ニ澱粉ノ外、色々ソレト關聯致シマシテ加工處理ノ問題ニ付テハ、今後ノ問題トシテ私共モ十分是ハ研究ヲシ、又改善ヲ致シテ参ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

ソレカラ諸會社ノ問題デアリマスガ、現在ハ諸會社ハ政府ノ代行機關ト致シマシテ、結局全國ノ操作ヲ致シマス機關トシテ使ツテ居ルノデアリマスガ、末端ニ於キマシテハ色々此ノ問題ニ付テハ、寧ろ末端ト申シマスヨリモ、道府縣農業會以上ノ點ニ於テ色々諸會社ノ存續ニ付テハ從來カラモ議論ノアツタ所デアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ趣旨デ以テ使ツテ居リマスノデ、現在之ヲ廢止スルト云フコトハ、只今ノ所デハ考ヘテ居リマセヌ、唯地方ニ於キマシテハ、今申シマスヤウニ色々摩摺ガアル所モアルヤウデアリマシテ、特ニ私共ノ方ト致シマシテハ農業會ト密接ナ關係ヲ持チ、緊密ニ聯繫ヲ致シテ、巧ク是ガ政府ノ代行機關トシテ動クヤウニ努メテ参リタイ、斯様ニ現在考ヘテ居ル次第デアリマス

○の場委員 次ニ供出ナリ配給ニ關シテ、今マデノ質問者ガ質問サレナカツタヤウナコト、ソレデ諒解ノ出來ナイ二、三ノ問題ニ付テ更ニ伺ヒマス、供出ノ相當基礎ノ數字ガ、收穫量ヲ以テ割當ヲナサツテ居ルノデスガ、此ノ收穫量ノ調査ト云フモノガ極メテ杜撰ノモノノヤウニ考ヘマスガ、モウ少し正確ナル調査ノ出來ル方法ハナイモノデアラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス、現在デハ地方ノ穀物検査員ノ調査ヲ主ニ使ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、一方穀物検査員ト云フモノハ、是ハ作物ノ生産技術ニ付テハサウ堪能ナ人デハナイノデアツテ、唯出來マシタ穀類ノ品質検査ヲヤルノデアツテ、其ノ検査員ガ收穫豫想ヲ報告シテ、ソレヲ最モ尊重シテ居ラレルヤウニ考ヘマスガ、是ハ生産指導ノ任ニ當ツテ居ル人方ノ調査ノ方ガ正確ニ行クノデハナイカ、サウ云フコトニ付テモウ少し何トカ基礎數字ガ正確ニナルヤウニ工夫ナサル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス

○の場委員 簡單ニ要點ダケ申上ゲマス、隣デハ全ク田植ノ時食フ物モナイト云フ實情ノ者ガアツテ、極メテ不公平デアアル、隨テサウ云フ不公平ナ割當ヲシテ置イデ、出サナケレバ強權發動、此ノ緊急措置令ト云フコトニナリ

マス、私共ハ承知シ難イと思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲ公平ニスル爲ニ、作付前ニ於テ地方ノ土地ノ力ヲ算定シ調査シテ、之ニ或ル程度ノ割當ヲシテ、目標ヲハツキリシテ増産ニ勵ムヤウナ工夫ヲシタラドシナモノデアラウカ、是ダケニ依ツテ割當ト云フコトモ出來マスマイガ、天災モアリマスカラ、サウ云フ災害其ノ他ノ事項ヲ考慮シテ、收穫前ニ於ケル豫想モ勿論調査致シマセウケレドモ、植付前ニ於テ地方ノ基礎トスル努力ヲスレバ、是ダケハ出來ルカラ、是ダケハ供出ヲセヨト云フ目標ヲ與ヘテ増産ニ努力セシムルヤウナ工夫ヲナサル御考ヘハナイノデアアルカ、之ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○補見政府委員 正確ニ收穫量ヲ擷ムト云フコトニ點ニ付キマシテハ、昨日モ此ノ委員會デ色々御話ガアリマシタヤウニ、一面ニ於キマシテ供出ト云フ問題ガ終ンデ参リマスノデ、中々正確ヲ得ラレナイト云フ實情デアリマシマス、併シナガラ現在ノ此ノ調査ノ方法ハ、今御話ガアリマシタヤウニ、検査員ガ直接ニ調査スルト云フノデハナクシテ、現在ノ建前ハ各部落デ中隔ノ、又眞面目ナ農家ノ方々選ビマシテ、是等ノ農家ニ全刈、全調製ヲシテ戴キ、其ノ眞實ヲ報告シテ貰ヒ、ソレヲ検査所ノ系統デ以テ報告ヲ取總メテ中央ニ提出スル、斯ウ云フ段取ニナシテ居ルノデアリマスガ、色々供出其ノ他ノ情勢、事情ガ伴ヒマスノデ、遺憾ナガラ眞實ノ姿ガアリノ儘中央ニマデ届カナイ、而モ是ハ食糧政策ノ中心ノ基礎ヲナス數字デアリマシマス

カラ、私共モ其ノ點ニ於テハ非常ニ苦慮致シテ居ルノデアリマス、結局ハ色々條件ニ制約サレズ、又他カラ制約サレズニアリノ儘ヲ報告シテ戴クト云フ方向ニ行カナケレバナラヌと思フノデアリマス、要スルニ、總テノ人々ガ是ノ重要性ト云フコト、又眞實性ト云フコトニ付テ十分ニ理解ヲシ、又重要性ヲ感ジテ戴クト云フコト以外ハ中難カシイ問題デアハナイカト存ズルノデアリマス

○の場委員 簡單ニ要點ダケ申上ゲマス、隣デハ全ク田植ノ時食フ物モナイト云フ實情ノ者ガアツテ、極メテ不公平デアアル、隨テサウ云フ不公平ナ割當ヲシテ置イデ、出サナケレバ強權發動、此ノ緊急措置令ト云フコトニナリ

ソレカラ事前割當ノ問題デアリマスガ、御承知ノヤウニ、昭和十九年ニ於テハ、四月頃ニ米ノ事前割當ヲ致シタノデアリマシタガ、此ノ年ハ偶々作モ悪ク、事前割當ハ失敗ニ歸シタノデアリマス、併シ豫テ此ノ委員會デ申上ゲマシタヤウニ、是等ノ供出問題ニ付テハ、一面ニ於テ土地ノ生産力、一面ニ於テハ農家構成、農家需要ト云フヤウナ點ヲ併セテ考慮スル必要ガアラウト思フノデアリマシテ、今後ノ供出制度ヲドウスルカト云フ問題ノ場合ニハ、特ニソレ等ノ點ヲ考慮ニ入レ、參考ニ供シテ、良イ供出制度ヲ作り出シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○の場委員 私が御聽キシタイと思フコトニ付テハ、大體御回答ヲ戴イタト思ヒマスガ、價格ノ是正ト云フコトガ行ハレナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等ニ付テハ我ガ黨ノ北君ヨリ御諒不致シマシタケレドモ、ドウモハツキリシナカタヤウデアリマス、私達ハ現在ノヤウナ狀態ニ於テ、生産ノ面、供出ノ面、配給ノ面ヲ現在ノ儘ノ姿ニ置イテ食糧ノ緊急措置令ト云フモノヲ以テ生産者ヲ壓迫スルコトハ宜シクナイ、ナスベキコトデナイト信ズルモノデアリマス、併シナガラ増産ガ十分ニ出來テ、而モ供出ニ對スル取扱モ公平ニ圓滿ニ行ツテ、配給モ其ノ間ニ

○の場委員 簡單ニ要點ダケ申上ゲマス、隣デハ全ク田植ノ時食フ物モナイト云フ實情ノ者ガアツテ、極メテ不公平デアアル、隨テサウ云フ不公平ナ割當ヲシテ置イデ、出サナケレバ強權發動、此ノ緊急措置令ト云フコトニナリ

順調ニ行ツテ、闇ヲシナクテモ農機具ガ手ニ入ル、闇ヲシナクテモ飯ガ食ツテ行ケルヤウニ百姓ノ姿ヲシテ、茲ニ初メテソレデモ文句ヲ言フタリ、ソレ程立派ニヤツテ行ケルヤウニシテモ供出ヲシテ呉レナイ、國家ヲ思ハナイト云フヤウナ者ニ付テハ、食糧ノ緊急措置令モ亦已ムヲ得ナイと思ヒマスケレドモ、一方農民側ニ於テ如何ナル苦難ガアラウトモ、ドウ云フ悲惨ナ狀態ニアラウトモ、ソレヲ顧ミルコトナシニ、此ノヤカマシイ、難カシイ規則ヲ以テ農民ヲ壓迫シテ戴クコトハ、是ハ農民トシテ忍ビナイノデハナイカト考ヘマス、以上私ハ唯殘サレタ一部ノ問題ダケヲ御尋ネ致シタノデアリマスガ、今日マデ各方面カラ色々要求モアツタヤウデアリマスシ、質問モアツタヤウデゴザイマスガ、今農林當局御考ヘニナツテ居ルコトガ徹底スルヤウニ、率直ニサウ云フコトヲ徹底サセテ戴イテ、色々困難ナ事情モゴザイマセウケレドモ、萬難ヲ排シテ徹底シテシテ戴ク、同時ニ先刻申上ゲタ不要ノ生産團體ト云フモノヲ強化シテ、自分ノ作ツタ物ハ自分ガ最後マデ處理シテヤルト云フヤウナコトニ導イテ行ツテ、更に價格等モ闇デ賣リナクテモ生産ガ繼續出來、生活ガ續ケラレテ行クト云フヤウナ姿ニシテ置イテ此ノ規則ヲ以テ抑ヘルト云フナラバ別トシテ、現在ノヤウナ狀態デ此ノ規則抑ヘテ賣ツテハ困ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、價格ノ是正等ニ付テ見透シガ付イテ居リマスナラバ、此ノ上更ニ御聽カセ願ヒタイ、今ノ御話デハ、諸會社ノ如キモノモ、是ハ存置サレル御意思ノヤウデアリマスカラ、是

モ更ニ御研究ヲ御願ヒシタイと思ヒマス
畜産局長ガ御見ニニナツタノデ、サツキ御尋ネテ保留シテ置キマシタ畜産振興ノ問題ニ付テ、大臣モ御見エニナツタヤウデスカラ、一言御尋ネシテ質問ヲ打切りタイと思ヒマス、自給肥料ト云フコトト關聯ヲ致シマシテ、畜産ノ振興ト云フコトガ伴ハナケレバ、増産ハ出來ナイノデアリマスルガ、畜産ノ振興ニ付テ何等カノ御考ヘガアルノデアリマスカ、從來ノヤウニ成行ニ任セテ置カレノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、畜産ニ付テハ從來別途ノ畜産組合ト云フヤウナモノガアツテ、是デ相當畜産ノ獎勵ヲヤツテ居ラレタヤウデアリマスルシ、今マデハ馬ハ武器ナリト稱シテ、非常ニ大事ニ、國トシテ馬政局ト云フモノガ別ニアツテ取扱ツテ居ラレタヤウデアリマスルガ、モウ武器ガ必要ナクナツタカラ馬ハ必要ガナクナツタト云フヤウナ御考ヘアルノカドウカ、武器デハナイケレドモ、食糧増産ノ爲ニハ馬、牛ト云フヤウナ大動物ガ是非トモナケレバ今日ノ日本ノ農業ハ成立タヌト考ヘマスルノデ、馬ガ武器ダト云ツテ大事ニナサツタ時ヨリモ、此ノ食糧饑饉ノ時ニハ更ニ是等ノ問題ニ付テ今マデヨリモ力ヲ入レテ賣リ必要ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、馬ノ振興ノ圖ル爲ニハ地方競馬ナドヲ盛ニシルベキモノデハナイカ、此ノ地方競馬法ノ制定ト云フヤウナコトニ付テ何カ御考ヘニナツテ居リマスナコトハナイノデアリカ、今後ドウ云フ風ニナサル積リデアルノカ、現在ノ所デハ馬ノ頭數モ牛ノ頭數モ著シク減少シテ行クヤウニ見受ケラ

レマス、サウ云フ姿ニ於テハ食糧ノ増産ハ望メナイ、何トカシテ賣ハネバナラヌト考ヘルノデアリマス、此ノ點ヲ大臣カラ教ヘテ戴キタイと思ヒマス
○和田國務大臣 畜産ノ問題デアリマスガ、私ハ、日本ノ農業ヲ長目デ見マスル時ニハ、日本ノ現在ノ食糧ノ點カヲ言ヒマシテモ、ドウシテモ畜産ト云フモノハ大ニ振興シタイノデアリマス、家畜ノナイ農業ト云フモノハ農業デハ實ハナイノデアリマシテ、日本ノ今後行クベキ農業經營ノ方向カラ行キマシテモ、私ハドウカ農耕ニ家畜ヲ取入レテ、サウシテ家畜ヲ以テ動力カス機械位ハ早クカラ個々ノ農民ガ持つテ、サウシテ經營ヲヤツテ行クコト云フヤウナ方向ニ實ハ持つテ行キタイノデアリマス、隨ヒマシテ家畜ノ細カイ色々ナ振興策ニ付テハ、畜産局長ガ居ラレマスカラ御説明願フトシマシテ、私トシマシテモ家畜ノ振興ニ付テハ熱意ヲ持つテ居ルノデ、異論ハアリマセス、唯、今非常ニ食糧ガ窮乏ナモノデアリマスルノデ、飼料ノ點デ非常ニ窮乏ニナツテ、家畜ガダンノ減ツテ來テ居ルト云フ狀態ガアルノデゴザイマスルノデ、何處カデ此ノ勢ヒヲ阻止シ、轉換サセテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論飼料ニ付テハ或ル程度ノ輸入モ懇請致シテ居ル次第デアリマスルシ、飼料作物ト云フヤウナモノニ付テ今後ノ研究ヲ致シテ居ル譯デゴザイマスルガ、何處カデハ出來ルダケ早ク手ヲ打ツテ、畜産ト云フモノノ基礎ヲ固メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、價格ノ點ハ是ハモウ屢々御答ヘ致シタノデ、實ハソレデ御諒承願ツテ置キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、供出ノ割當トカ、其

ノ他ニ付キマシテハ次官カラ御答ヘ致シマシタヤウニ、合理的ナモノノ割當ハ是非致シタイト準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス、經營ノ方カラ見マシタ家畜ト、ソレカラ又一面カラ言ヒマス、經營ト云フ點ダケデナクテ、食糧ト榮養ト云フ方カラ見タ、例ヘバ乳牛デアルトカ、サウ云ツタヤウナモノニ付テモ、勿論是ガ巧ク農業經營ニ取入レラレテ、ソコニ日本ノ農業トシテ新シイ天地ガ開ケテ來ルト云フコトガ私トシテ非常ニ望マシイノデアリマシテ、サウ云ツタ點ニ付テハ今後トモ十分綜合的ニ考ヘマシテ農業政策ト云フモノヲ立テテ行キタイと思ツテ居リマス、食糧ノ増産ト云フ目下ノ點カラ言ツテモ、肥料ノ點カラ御説ノヤウニ自給肥料ヲ造ルノニハ家畜ガアレバ一番宜イ、サウ云フ點カラ言ヒマシテモ、勿論家畜ハ不可缺ノモノデアリマス、御趣旨ノ點ハ十分私トシテモ考ヘマシテ、畜産ニ付テモ農業ノ經營ト不可分ナ、地ニ付イタ形デ振興シテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス
○蓮池政府委員 畜産振興ノ點ニ付テ御尋ネデアリマスノデ、大體最近ノ狀況カラ取上ゲテ居リマス畜産ノ政策ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、御話ノ如ク家畜、特に大家畜ガ戰時中並ニ終戦後、此ノ春ニ掛ケテ非常ニ頭數ノ減少ヲ來シテ居ルノハ、色々原因ガアルノデアリマスガ、我が國ノ農業ト申シマスカ、我が國ノ再建ノ爲ニ非常ニ遺憾ナコトデアッタト存ジテ居リマスガ、是モ亦已ムヲ得ナカツタ事態ガ多クアツタヤウニ思ハレマス、殊ニ大家畜ノ中、馬ノ問題ニモ疑問ガアルノデ、ソレヲ解明シロト云フ御話デアリマスガ、馬ノ大家畜トシテノ利用價值

ト申シマスレバ、農業經營上、肥料ノ點カラ考ヘマシテモ、農耕ノ重労働作業カラ申シマシテモ、必要缺クベカラザル、又日本ノ農業全體ニ互ツテ非常ニ大キナ役割ヲ演ジテ來テ居ツタノデアリマシテ、左様ナ狀態ニ於テ飼養管理セラレテ居ル馬ヲ一旦緩急アル場合ニ國防ノ用ニ立テルト云フコトデ、國防上ノ根柢ニ合フモノヲ作り、又其ノ用意ヲサセテ置クコト云フノガ所謂馬兵器デアルト云フコトデアツタヤウニ思ハレルノデアリマスガ、サウ云フ事態ガ只今ノ所ナクナツタニシロ、馬ノ農耕用並ニ肥料等ノ部面ニ於ケル農業部面ノ重要性ハ、金肥ノ不足ヲ補フ意味ニ於テモ、イヤ寧ろ戰時中勞力ヲ少シクテ收穫ヲ擧ゲテ行ク農法ヲヤツテ來タ巡程カラ、地力ノ減退ヲシテ居ル今日、地力維持増進ノ面カラモ缺クベカラザル所デアリマシテ、肥料ノ點カラ言ヘバ牛ヨリモ馬ヨリモ重點ヲ置カナケレバナラヌノデハナイカト云フ點ガ技術上ノ結論デアリマシマシテ、隨ヒマシテ此ノ大家畜ノ頭數ノ減少ニ對シマシテハ、今後事情ノ許ス限リ増殖ヲ圖ツテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、過般農林省ノ直營シテ居リマス畜産施設デアル所ノ種畜場四箇所ノ外ニ、從前ノ馬ノ施設デアリマシタモノヲ、馬ト共ニ其ノ他ノ牛、山羊、綿羊等、一般家畜ニモアノ制度ヲ及ボシマシテ、從來ノ種畜場ト同ジ體制ニ漕ギ付ケルト云フコトヲ具體化シマシテ、尙ホ農場ヲ經營スルコトニ依ツテ飼料ノ自給並ニ營業モ實踐シテ行ク建前デ種畜場制度ヲ採リマシタ、隨ヒマシテ從前ノ如ク所謂國立種畜場ノ働キヲスル場所ガ全國デ二十四箇所出來タ次第デアリマス、

此ノ方面ニ於テ日本ノ家畜ガ一殊ニ他ノ質ノ良イ優秀ナ家畜ノ種ガトモスレバ缺點テ行ク處レアル事態ヲ國ノ力ニ依ツテ收拾、維持、確保致シマシテ、食糧ノ事情ニ關聯シテ飼料事情ニ格リガ出テ參リマス同時ニ、優良種畜ガ増殖ノ基礎ヲ培フテ行クヤウニテ云フコトデ対策ヲ立テ又實行ニ入ツテ居ル譯デアリマス、尙ホ日本ノ農業ノ實際カラ申シマシテ、大家畜ノ利用方法ソレ自體ガ、選家肥料問題ガ餘程技術上ノ普及モ進ンデ居リマススケレドモ、大家畜ノ畜力其ノモノヲ農業經營上遺憾ナク使ツテ行ツテ家畜ノ衛生上モ宜シイ、而モ農作業ノ能率モ上ルト云フコトニ致シマスルニハ尙ホ相當技術上ノ指導ヲ必要ト致シマスノデ、此ノ方面ノ仕事モ家畜ノ頭數増加ニ連レテ農家ニ家畜ガ入ツテ行キマスル時ニ、經營上無理ノ起キナイヤウニ、今カラ技術ノ添地ヲ培フテ置ク必要ガアルト云フノデ、殊ニ馬ノ利用指導、大家畜、役畜ノ利用ノ指導ト云フ方面ニ國ノ施設ヲ擴充致シテ居ル次第デアリマス

尙ホ畜産振興ノ士氣昂揚策トシテ競馬ヲ採入レル考ヘガナイカト云フコトデアリマスガ、馬産地方ニ於ケル競馬ト云フモノハ社會ノ一般ノ情勢ガ許ス限リニ於テハ、例ヘバ畜産品評會、供進會等ノ催シ等トモ關聯シテ是ガ畜産振興ノ士氣昂揚施設トシテ善用セラレルコトハ洵ニ好マシイコトデアルト考ヘルノデアリマスガ、御存ジノ通り「ボウダム」宣言受諾ニ伴ヒマシテ同時ニ軍馬資源保護法ノ廢止トナリマシテ、軍馬資源保護法ヲ規定シテアリマシタ種馬競争ノ基礎法律ガナクナリマシタノデ、地方競馬ヲ施行致シマスル

ニハ勝馬投票權等トモ件ツテ實行致シマスルコトハ違法ノ措置ニナル處レガアルコトナリマスノデ、ヤリ方ニ非常ニ苦心ガ必要デアルト云フ事態デアリマスノデ、此ノ方面モ情勢ノ整ツテ來ルニ連レマシテ適切ナル制度ガ立テラレコトガ必要デアルト云フノデ十分研究ヲ怠ラズ積リテ準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○の場委員 今ノ畜産ノ關係馬ト牛トハ同ジ農家ガ使用シテ居ルノニ組合ハ別ダト云ツタヤウナ變ナ恰好ニナツテ居リマスガ、之ヲ同ジ指導團體ニ統合サレル御意思ハナイノデアリマス、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○運池政府委員 農業上ノ利用部面カラ申シマスルト、役畜ト云フ觀點カラ牛ト馬ヲ別々ニ分ケテ別ナ組合ニ入ツテ別ナ指導ヲ受ケルト云フコトナリマスコトハ極メ遺憾デアリマス、斯ウ云フ制度ガ已ムヲ得ズ行ハレタコトハ私御説明申上ゲルマデモナク國ノ大勢、國ノ事情カラ已ムヲ得ザル經過的措置デアツタト考ヘルノデアリマスガ、馬ノ利用部面カラ申シマスレバ農業ト一貫性ヲ十分考慮シタ制度ガ考ヘラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、牛ノ農業上ノ利用ト馬ノ農業上ノ利用トハ相共通スル部面モ多ク、又相互相補フ點モ多クノデアリマスガ、之ヲ又別々ノ團體トシテ指導スルト云フコトハ相當經過的ナ至ンダ姿ヲ何處カニ調整點ヲ見付ケナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯生産ノ部面ニナリマス、馬ノ生産部面ト、牛ノ生産部面トデハ生産ノ態様、生産ノ地方等ヲ異ニスルモノガ大部分デアリマスカラ、其ノ地方ニ於テハ同ジ組織デアツテモ別ナ團體ガ出來ルト

云フコトモアラウカト存ズルデアリマス、併シソレガ爲ニ各々別ノ法制ガ是非必要デアルト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、同一ノ法制デ別ノ組織ガ出來ルト云フコトモ亦適切ナル法デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○の場委員 大變親切ニ御説明ヲ願ツテ有難ウゴザイマシタガ、今ノ馬ノ問題ナドハ是非一ツ馬ト牛トガ別ノ團體ヲ指導サレルヤウナコトガナイヤウニ御願ヒヨシタイ

ソレカラ平地林ノ問題ハサツキ御答辯ヲ願ツタノデアリマスガ、是非一ツ今度ノ農地法ノ關係ニ於テハ耕地トナリ得ル土地ハ、耕地ト同ジ取扱ヒニナルヤウニ御配慮ガ願ヒタイト思ヒマス、有難ウゴザイマシタ

○苦米地委員 此ノ間、私ノ質問ニ對シマシテ適當ノ機會ニ農林大臣カラ直接御答辯ヲ戴クコトニナツテ居タノデアリマスガ、ソレハ日本ノ農業政策ヲ國內食糧ノ自給ニ方針ヲ持ツカドワカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ農林大臣カラ直接御話ヲ伺ヒタイ

○和田國務大臣 私人、自給ヲ農林政策ノ根本ニスルカドワカト云フコトハ、或ル程度ヤハリ時ヲ限ツテ言ハナイト正確ナ答ヘハ出ナイト思ヒマス、今ノヤウナ狀態デアリマスルナラバ、是ハヤハリ出來ルダケ農業ノ生産力ヲ高メマシテ、綜合的ナ食糧トシテノ自給力ヲ高メテ行クト云フ方向ニ生産農業ノ農業政策ノ一ツノ目標ガアルコトハ、ハツキリ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ食糧問題ト云フモノハ日本ノ經濟ガ再建サレマシテ、平和國家トシテ全世界ノ經濟ニ參加スルコトガ許サレマシタサウ云フ狀態ヲ考ヘマスルナラバ、單純ニ唯日本ノ内地ダケデ食糧

ヲ自給シテ行クト云フ方向ヲ日本ノ農業政策ノ根本トスルト云フコトニハ、多少疑問ガアルト私ハ思ヒマス、是ハヤハリ日本ノ國家ノ經濟ハ全世界ノ經濟ニ關係ガアルノデアリマスカラ、假令自給ガ出來ルトシテモ其ノ方ガ日本ノ國民經濟トシテ一體「エコノミカル」デアリカドワカト云フ問題ガ殘リ譯デアリマス、私トシテハ現在ノヤウナ段階ニ於テ殊ニ日本ノ經濟ガ農業工業ヲ問ハズ、全體トシテノ再建ノ途上ニアリ、殊ニ食糧ガ斯ウ逼迫シテ居リマス時ニハ、是ハ何ト云ヒマシテモ一應消費材ニ對スル需要ハ緊迫ナモノデアリマスノデ、食糧ト云フモノニ付テノ生産力ヲ高メテ行クト云フ方向デ、出來ルダケ「エコノミカル」ノ方法デ食糧ノ生産ヲ高メテ行クト云フコトガ根本ダト云フ程度シカ、私ハ明確ナ答辯ハ出來ナイノデアリマス、食糧自給ヲ根本トスルカドワカト云フヤウナ孤立經濟トシテ考ヘルコトハ、多少無理ガアルノデアリナイカト思ヒマス

○苦米地委員 大臣ノ御考ヘハモウ分リマシタ、私ハ現在ノ日本ノ環境ハ鎖國經濟ニナツテ居ルと思フンデス、サウシテ國民ハ食糧ニ戰イテ居ル、ソレデアリマスカラ農林當局ハ日本ノ國內デ少クモ食糧ハ自給スルノダト云フ熱意ノアル方針ヲ立テテ、サウシテ國民ヲ安心サセルコトガ非常ニ大キナ影響ヲ齎ラセルダラウト思フノデアリマ

士土地ノ改良、肥料ノ増産、或ハ先程言ハレマシタ科學技術ノ浸透、新開地ノ開拓、其ノ他ニ依リマシテ少クモ農林當局ハ日本ノ國民ノ食糧ハ國內自給シテアルンダト云フダケノ大キナ熱意ヲ以テ臨ムコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、無論國際關係ニ立ツ國

ノ經濟ノ面カラ申シマスレバ、當然貿易ト云フ問題モ起リマスシ、經濟的ニ交通スルト云フコトハ當然デアリマス、併シナガラ食糧ノ今ノ狀態ヲ國民ニ安心サセルト云フ點カラ申シマシテモ、農林當局ガモット熱意ヲ持ツテ國內自給スルノダ、必ズ自給サセル政策ヲ執ルト云フヤウナコトニ依ツテ、國民ノ食糧ニ對スル不安感ガ緩和サレ

ルノデアリナイカト云フ考ヘヲ以テマシテ質問シタノデアリマススケレドモ、今ノ御話ニ依リマシテ大體分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○和田國務大臣 誤解ガアルト一寸困リマスカラモウ一遍御話シマスガ、日本ノ食糧ニ對スル自給度ヲ高メテ行クト云フコトハ、是ハモウ我々ガ根本ノ精神トシテ持ツテ居ルノデアリマシテ、又其ノ方向ニ政策ヲ強力ニ進メテ行ツテ居ルノデアリマス、併シ苦米地サシノ御質問ハ、一體食糧自給ト云フモノハ永久ニ、是カラ先永先間一體食糧自給ト云フモノヲ方針トシテ農業政策ヲヤルノカ、斯ウ言ハレ、バ私ハ是ハ「イエス」トハ中々答ヘニクイ問題ダ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、殊ニ現在ノヤウナ段階ニ於ケマシテモ、食糧ノ自給ガ出來レバ之ニ越シタコトハナイ、隨テ其ノ方向ニ土地ノ生産力ヲ高メ、凡ル手ヲ打ツテ進ンデ行クト云フコトニ變リアリマセスガ、私ハ今ノ緊迫シタ事情ニ於テモヤハリ將來ノコトモ考ヘテ、應急策ト恆久策トガ旨クソコニ調和ノ取レルヤウナ方向ニ農業政策ヲヤツテ行クト云フ心構ヘデアリマセスト、農業政策ト云フモノガ常ニ斷片的ナ、バラバラノモノニナリ勝チナノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ、是ハ私一個ノ私見デ色々御批判ガ

アルト思ヒマスガ、私ハドウモ政策ト云フモノハサウ云フ形デ現在ノミナラズ將來ヲ見テノ一是ハ現在ノ條件ニ制約サレコトハ勿論デアリマスルガ、サウ云フ方向ヲ進メテ行クト云フコトガ、結局好イ結果ヲ生ムノデハナイカト斯ウ考ヘテ居ル譯デス

午後零時四分休憩

午後一時十四分開議

○成島委員長 午前二引續イテ開會ヲ致シマス、大體本日ヲ以テ質疑ヲ打切ニ致シタイト思フノデアリマス、ソレデ明日ノ午前十一時頃政府側ヲ除イタ委員タケノ之ニ對スル懇談會ヲ開キマシテ、サウシテ午後三時頃正式ノ委員會ヲ開キ討論ヲシテ決メタイト思ヒマス、ドウゾ左様御含ミヲ願ヒタイト思ヒマス——志賀義雄君

○志賀委員 此ノ食糧緊急措置令ニ付テ結論カラ先ヅ申上デレバ、ハ要スルニ德川幕府時代ニモ見ラレナカツタ極端ナ官僚制ヲ強行セントスル勅令デアリマシテ

〔委員長退席、馬越委員長代理著席〕

之ニ對シテハ私共トシテハ絕對ニ賛成致シ兼ネルノデアリマスガ、ソレニ付テ關係當局ニ二、三御質問ヲ致シタイコトガアルノデアリマス、食糧緊急措置令ハ其ノ前六月十三日ニ發表サレマシタ食糧非常時宣言ヲ相關聯スルモノデアリマス、此ノ宣言ニ於テハ、國ヲ救フ爲ニ皆力ヲ協ハセテ居リマスガ、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居リマスガ、其ノ後間モナク農林省デ職員ノ爲ニ買出シ休取ヲ十日ヅツ認メラレマシタ、成程

農林省ノ職員諸君モ今ハ食糧ニ困リテ居ラレコトハ我々トシテモ能ク分ルノデアリマスガ、一體何ヲ買出シニ行カレルノカ、ヤハリソコニハ關ノ食糧ガアルト云フコトヲ前提ニシテデナケレバサウ云フ食糧買出シノ休取ト云フモノハ與ヘラレナイコトニナルノデアリマスガ、一方デハ農林省ハ斯ウ云フ食糧緊急措置令ヲ發表サレナガラ、省内ニ於テハ斯ウ云フコトヲヤラレト云フコトハ、是ハ一ツノ大キナ矛盾デハナイダラウカ、又モウ一ツ御尋ネシタイコトハ、戰爭ガ終ツタ當時、農林省ノ食糧管理局ガ青梅線ノ沿線ニ移シテ居リマシタガ、是ハ私開イタコトデアリマスカラ其ノ眞偽ヲ御尋ネシタイノデアリマスガ、青梅沿線ニ疎開準備ヲシタ時ニ、米百俵、雜穀數百箱、地下足袋、作業衣多數ガ其ノ方ニ移サレテ居タサウデアリマスガ、是ガ終戰ノ時ニナクナツテ居タト云フコトデアリマス、是ハ一體何處ニドウ云フ風ニナツタノカ是モ伺ヒタイノデアリマス、サウ云フコトガアリマシテ、農民ニ對シテ食糧ヲ隱シテ居ルノハ怪シカラヌカラソレヲ根コソギ供出サセル、供出シナケレバ、農林大臣ノ表現ヲ以テスレバ傳家ノ寶刀タル強權ヲ發動スル、斯ウ云フコトデ以テ果シテ農民諸君ガ納得シテ快ヨク出セルモノデアラウカドウカ、其ノ農林省ノ態度心構ヘト云フモノニ付テ先ヅ伺ヒタイノズ、是ダケヲ最初ニ御伺ヒシマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、政府ノ食糧非常宣言ヲ出シマシタノハ、食糧宣言ニ書イテ居リマスヤウニ、此ノ食糧ノ危機ハヤハリ國民ノ全面的ナ協力ヲ俟ツテ初メテ突破出來ルモノダト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ申スマデモゴザイマセヌ、色々ナ政策ヲヤツテ行キマスル時ニ其ノ政策ニ付キマシテハ批判ハ各角度カラ出來マシ、又公正妥當ナル批判ハ政府トシテハ謙虛ナ氣持デ受ケルベキデハゴザイマスガ、要ハ其ノ政策ガ目標トシテ居リマスル事柄ヲ達成スル點ニアルノデアリマシテ、其ノ爲ニハヤハリ國民モ批判ハ批判スルト同時ニ十分協力ヲシテ戴ク心構ヘガ又必要ダト思フデアリマシテ、サウ云フ意味デ我々ト致シマシテハ、國民ノ協力ヲ俟ツテ政府トシテノ政策ヲ實行致シテ此ノ危機ヲ突破致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、農林省ノ食糧休取ト云フコトハ、食糧休取ト云フ名前ハ、是ハ私何處デドウ使ツタノカ存ジマセヌガ、新聞ニハ食糧休取ト出テ居ルノデアリマス、是ハ農林省トシマシテモ、職員ニ或ル休取ヲ從來カラモ認メテ居リマシタノデ、ソレヲ能率ノ下ラナイヤウニ、役所トシテノ事務ノ滞滯ノナイヤウニ交代デ兎ニ角休取ヲ認メテ行クト云フヤウナコトデアリマシテ、食糧買出シノ爲メノ休取デハナイノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス、食糧休取ト云フノヲ新聞デ書イタモノデスカラ、何ダカ食糧ノ爲メノ休取ヲ與ヘタ、斯ウ云フヤウニ誤解サレ易イノデアリマスカラ、ドウカ其ノ誤解ハ御解キニナツテ、戴キタイト思フノデアリマス、農林省ノ隱匿物資ニ付テハ私ハ能ク存ジマセヌ、サウ云フコトガアツタカドウカ、ソレハ或ハ政府委員ノ方カラ御答ヘ出來ルカドウカ分リマセヌガ、私トシテハ戰爭中ハ御承知ノヤウニ農林省ニ居ナカツタノデアリマスカラ、果シテサウ云フコトガアツタカドウカ分リマセヌ

ハ申スマデモゴザイマセヌ、色々ナ政策ヲヤツテ行キマスル時ニ其ノ政策ニ付キマシテハ批判ハ各角度カラ出來マシ、又公正妥當ナル批判ハ政府トシテハ謙虛ナ氣持デ受ケルベキデハゴザイマスガ、要ハ其ノ政策ガ目標トシテ居リマスル事柄ヲ達成スル點ニアルノデアリマシテ、其ノ爲ニハヤハリ國民モ批判ハ批判スルト同時ニ十分協力ヲシテ戴ク心構ヘガ又必要ダト思フデアリマシテ、サウ云フ意味デ我々ト致シマシテハ、國民ノ協力ヲ俟ツテ政府トシテノ政策ヲ實行致シテ此ノ危機ヲ突破致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、農林省ノ食糧休取ト云フコトハ、食糧休取ト云フ名前ハ、是ハ私何處デドウ使ツタノカ存ジマセヌガ、新聞ニハ食糧休取ト出テ居ルノデアリマス、是ハ農林省トシマシテモ、職員ニ或ル休取ヲ從來カラモ認メテ居リマシタノデ、ソレヲ能率ノ下ラナイヤウニ、役所トシテノ事務ノ滞滯ノナイヤウニ交代デ兎ニ角休取ヲ認メテ行クト云フヤウナコトデアリマシテ、食糧買出シノ爲メノ休取デハナイノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス、食糧休取ト云フノヲ新聞デ書イタモノデスカラ、何ダカ食糧ノ爲メノ休取ヲ與ヘタ、斯ウ云フヤウニ誤解サレ易イノデアリマスカラ、ドウカ其ノ誤解ハ御解キニナツテ、戴キタイト思フノデアリマス、農林省ノ隱匿物資ニ付テハ私ハ能ク存ジマセヌ、サウ云フコトガアツタカドウカ、ソレハ或ハ政府委員ノ方カラ御答ヘ出來ルカドウカ分リマセヌガ、私トシテハ戰爭中ハ御承知ノヤウニ農林省ニ居ナカツタノデアリマスカラ、果シテサウ云フコトガアツタカドウカ分リマセヌ

○志賀委員 私モ噂デアリマスカラ能クハ存ジマセヌガ、サウ云フモノガアツタト云フコトデス、併シソレハ果シテアツタモノカドウカ、アツタトシテソレガナクナツタトスレバドウナルノデアアルカ、サウ云フ點ニ付テ補見次官カラ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 私モ終戰當時ニ於キマシテハ其ノ方ノ擔當デハゴザイマセヌ、隨テ其ノ眞偽ハ私モ承知シテ居リマセヌガ、唯斯ウ云フコトガアツタト云フコトダケハ間接ニ聞イタコトガアルノデアリマス、ソレハ終戰ノ直前ニ於キマシテ、御承知ノヤウナ非常ニ混亂ヲ豫想サレタヤウナ事態ガアリマシテ、例ヘバ各會社、官廳共ニ東京邊リデハ女ノ職員ハ之ヲ全部東京外ニ疎開サシタト云フヤウニ、今日カラ見マスト寧ロ非常ニ滑稽ニ近イ程周章狼狽シタヤウナ狀態デアツタノデアリマス、隨テサウ云フ風ノ周章狼狽シタ環境下ニ於テ、結局出來ルダケ都ノ中心部ニアルモノハ不便ナ所ニ移スト云フヤウナコトハ各方面ニアツタヤウニ私ハ存ジテ居ルノデアリマス、尤モサウ云フヤウナモノガ共ニ方デハ若シアツタト致シマスレバ、事態ガ終著シタ場合ニハ必ズ總テソレヲ元ニ戻シテ、或ハ正規ノ「ルート」ニ之ヲ上セルト云フコトデヤツテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ戰爭中ノ警防團ノ爲ニ持ツテ居リマシタモノガ隱匿藏トシテ誤リ傳ヘラレタモノモアツタノデアリマス、斯ウ云フモノモ總テ無用ノ誤解ヲ避クル爲ニ政府ノ機關ニ移シマシタコトハ志賀サンモ或ハ御承知ニナツテ居ルカト存ジマスガ、サウ云フヤウナ一般情勢ノ下ニ於テヤリマシタモノハ或ハアツタカト

思ヒマスケレドモ、ソレ以上詳細ノコトハ私モ承知致シマセヌ

○馬越委員長代理 志賀君一寸申上デマスガ、主税局長ガ御見エニナリマシタカラ、主税局長ニ關スル御質問ヲ願ヒマス

○志賀委員 主税局長ハ御忙シイサウデアリマスガ、簡單デアリマスカラ……

次ニ只今ノ御話ノ此ノ事件ノ有無ニ付テハ一應御調べ戴キタイ、若シサウ云フ事實ガアルトスレバ、之ヲドウシタカ、其ノ品物ノ行方ニ付テ私共餘リニ不愉快ナコトヲ聞及ンデ居リマスカラ、其ノ點ニ付テ十分嚴密ナ御調査ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、サウシテ出來ルナラバソレヲ公表シテ頂キタイト思ヒマス

○馬越委員長代理 志賀君、主税局長サンノ關係ノ方ヲ一ツ御濟マシ願ヒタイト思ヒマス

○志賀委員 デハ主税局長ガ御忙シイヤウデアリマスカラ其ノ方カラ伺ヒマス、實ハ一昨日東京府下三多摩並ニ東京ノ區内ノ農民ノ代表諸君ガ來ラレテ、今回ノ乙種事業所得及ビ綜合所得ニ關スル稅務署ノ査定ガ非常ニ苛酷デアリマシタ、丁度其ノ日社會黨ノ叶凸君ガ此ノ委員會ノ席上デモ此ノ問題ニ付テ質問サレテ居リマシタ、ダカラ其ノ重複スル點ニ付テハ省クコトニ致シマスガ、例ヘバ西多摩郡農村水久保部落ニ於ケル重稅ノ例ヲ申上ゲマス、平田隆助ト云フ八段歩ヲ經營スル自小作

ス、關ニ課税シタコトガ善イカ惡イカ、此ノ問題ハ相當議論ガアルト思ヒマスガ、此ノ農業所得ハ飽マデ昨年ノ實績ニ依ツテ決メルノデゴザイマス、隨テ昨年生産高ニ對シテ供出ガ七割ダツタ、其ノ三割ハ自分ノ家デ食ベルカ、或ハ他所ニ賣リニナツタカモ分リマセヌ、サウ云フ場合ニ若シ他所ニ非常ナ高價デオ賣リニナツタ場合ニハ、稅務署トシテハ先程申上ゲマシタ収入金カラ支出金ヲ控除シタ額ニ依ルノデゴザイマスカラ、之ニ課セザルヲ得ナイ規程ノ建前ニナツタ居リマス、若シ御作りニナツタ物ハ何處ヘモ關デオ賣ラナイ、公定價格バカリデオ賣リニナツタ場合ニ、關デ賣ツタデシテ稅務署ガ課税シタナラバ、是ハ大イニ誤リデゴザイマス、絕對ニサウ云フコトヲナシテハイカナイコトデゴザイマス、若シ公定價格デズツトオ賣リニナツテ居ルモノヲソレ以外ノ値段デ賣ツタト稅務署ガ査定シタナラバ、直チニ取消スベキ筈合ヒノモノデゴザイマス、併シ若シ假ニ或ル一部ヲ相當ナ高價デ他ニオ賣リニナツタモノヲ、稅務署ガ公定價格デオ賣リニナツタトシテ所得ヲ非常ニ少ク決定シタナラバ、是ハ課稅上由々シイ問題トナルト思フノデゴザイマス、私ハ農家ノ所得ノ決定ニ付テ實際ノ所得ヲ目安ニシテ決メタ稅務署ノ決定ハ妥當ト思ヒマス、實收所得ヲ捉マヘテ課税シタ稅務署ノ決定ハ妥當ト思ヒマス、是ハ私ハ或ル意味ニ於テ供出ヲ阻碍スルト云フ議論ハ立たナイノデハナイカト云フコトヲ自分自身トシテハ考ヘテ居リマス、若シ之ヲ他ニ公定價格以外デ申ノ、賣ル人ガ出來テ、サウシテ稅務署ガヤハリ公定價格デ決定シタト云フコトニナリマス

ト、實所得ヲ提メ得ラレナイコトニ
相成リマス、是ハ課税ノ不公平ヲ來ス
所以デゴザイマス、私ハ實際ノ收入ヲ
提メテ課税スルコトハ、是ハ稅務署
トシテ當然ノ職責デアルト考ヘテ居ル
次第デゴザイマス

尙ホ三番目ニ立川稅務署管内デハ、
農民ガ非常ニ課税ノ苛酷ナルニ呻吟シ
テ居ルト云フ御話デゴザイマシタ、其
ノ點アルト思ヒマシテ、實ハ先週ノ初
メ頃、又前ノ日曜日ニモ、二度財務局
ノ其ノ職ニアル部長ヲ行カシ、又一同
ハ主稅局ノ事務官ヲ差向ケマシテ、能
ク農民ノ方々ノ事情ヲ拜聴サセマシ
タ、稅務署ノ誤リノ點モゴザイマシ
テ、隨テ二、三日前カラ財務局モ參加
シタリシナカッタリデアリマスガ、稅
務署ガ中心ニナツテ各町村ノ役場ニコ
チカラ出掛ケテ參リマシテ、何デモ
町村長、農業會長、農事實行組合長或
ハ部落會長ノ立會ノ下ニ、個々ノ納稅
者ノ御意見ヲ聴キマシテ、直接ニ稅務
署ト折衝致シマシテ、誤ツタモノヲ直
スト云フ手配ヲ講ジテ居リマス、勿論
調査ニ當リマシテモ各稅務署ニ指令致
シマシテ、町村長殊ニ農事實行組合長
ノ意見、凡ユル人ノ意見ヲ聴イテ決メ
ルヤウニハ指圖ハ致シテ居リマスル
ガ、數多イ稅務署ノ中ニハ、其ノ點ニ
十分デナカッタコトモ見受ケラレマ
ス、立川ノ稅務署ハサウ云フ部類ニ欲
マツテ居ルノデハナイカト思ヒマス
デ、先程申上ゲマシタヤウニ個々ノ農
家ノ人ト、稅務署ノ者ガ出掛ケテ行キ
マシテ、直接ニ折衝致シテ居ル次第
デゴザイマス

御相談申上ゲマセヌ、我々ト致シマシ
テハ例年ノ例ガアリマスノデ、大藏省
トシテモ今年ハ農業所得ハ斯ウ云フヤ
ウニナルゾ、營業所得ハ斯ウ云フヤウ
ニナルゾト云フ指圖ハ致シマセヌ、各
財務局ガ其ノ職責ニ於テヤツテ居ル次
第デゴザイマス、以上御答ヘ申上ゲマ
ス

○志賀委員 稅務關係ノコトハ大藏省
ノ管轄デスカラ、其ノコトハ他ノ方ヘ相
談サレルガ宜シイカ、相談サレルカ
ト伺ツテ居ルノデヤナイノデス、一方
農林省ノ方デハ公定デ供出サセル、殆
ド食糧以外ノモノハ、イヤ食糧マデモ
喰込シテ供出サセヨウトシテ居ル、ソ
レニ對シテ自分ノ家ノ喰込持以外ノモ
ノハ、只今大藏省ノ主稅局長ハ或ル種
ノ農家ト言ハレマシタケレドモ、是ガ
全部ニ來テ居ル、或ル種ノ農家デハア
リマセヌ、全部ニ來テ居ル、ソレデハ
一體日本ニ政府ハ幾ツアルノカ、二重
政權トコロデハナイ、三重政權ニモナ
ル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデス、サ
ウ云フ點ニ付テ、ヤハリ各自自分ノ權
リダケニ付テ勝手ナコトヲシテ、全體
ノ國ノ政治ヲ紊シ、人民ノ反感ヲ買フ
ト云フコトハ、今後止メテ戴キタイト
思フノデス、ソレカラハ是ハ只今立川ノ
方面デモ稅務署ニ對シテ、農業會長、
實行組合長、其ノ他ノ人達ノ立合ノ上
ト言ハレマシタ、ソレデ此處ニ例ガア
リマスガ大分縣中津市デアリマス、體
カ市デアッタト思ヒマスガ、此處デハ
農民組合ニ、オモヒノ實收ガ幾ラアル
カト云フコトヲ査定サセルト云フコト
ヲ稅務署ノ方ヘ認メサセタト云フ情報
ガ入ツテ居リマス、斯ウ云フヤウニ實
際トシテ收入ガアルカト云フコトヲ、
稅務署ト其ノ村ノ顔役デスネ、上層階

級デナク、働ク農民自體ノ組織ニ公平
ニ認メサセル、斯ウ云フコトニ付テ、
既ニ中津ノ方面デハサウ云フ風ニナリ
ツ、アルト云フ情報ガアリマス、大藏
省トシテハ其ノ點ニ付テ積極的ニサウ
云フ風ニヤツテ戴キタイ、サウシテ皆
ガ納得ノ行クヤウニシテ、不公平ノナ
イヤウニ、又過重ナ負擔ノナイヤウニ
サセルト云フ方針ニ付テハ御考ヘハ如
何デセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデス

○池田(男)政府委員 御尤モ御話デ
ゴザイマシテ、從來カラ各所得ニ付キ
マシテハ、業者團體ノ意見ヲ聴クコト
ヲヤツテ居リマシタ、最近ノ如ク農產
物ノ價格ノ騰貴ニ依リマシテ、農業所
得ガ營業所得ニモ増シテ大キクナツテ
參リマシタ時ニハ、從來ノ營業者團體
ニ聴クヨリモ、先ツ農民ノ團體カラ意
見ヲ徵スルコトガ必要ダト思ヒマス、
隨ヒマシテ昨午カラ各町村ニ督稅嘱託
員ト云フモノヲ設ケマシタ、又本年ノ
所得ノ決定ニ付キマシテモ、先ツ農事
實行組合ト連絡ヲ取レト云フコトデ各
地トモヤツテ居ルト思ヒマス、今後益
益農業關係ノ團體ノ方々ト事前ニ話ヲ
ツケマシテ、納得ノ行クヤウナ課稅方
法ヲヤツテ行キタイト思ツテ居リマス

○志賀委員 ドウモ御答辯ガ多少ツツ
喰ヒ違ツテ居ル、私ハ農民組合ト申シ
マシタノデ、農事實行組合ト申シマ
セヌ、東京都ノ例ヲ見マシテモ、農事
實行組合長ヲ參加サセテ査定シテ居ル
ノデスガ、肝腎ノ農事實行組合ノ役員
ノ人達ハ全然知ラナイノデス、私ノ申ス
ノハ自治的ノ團體デアリ農民組合デ
ス、之ヲ申シテ居ルノデスガ、先ヅ此
ノ點ニ付テハモウ御答辯ヲ求メマス
イ、オ忙シイ様子デスカラ、モウ少
シ私ノ言フ質問「ポイント」ヲ擲ン

デ、御答辯ヲ願ハナイト、餘計ナ時間
ガ掛リマシテ、大分後ニ質問ナ
サル方ガゴザイマスカラ、後ノ方ノ御
質問ノ時ニモサウ云フヤウニ御注意願
ヒタイト思ヒマス、ソレデ主稅局長ニ
對スル質問ハ打切りマス、オ忙シイデ
スカラドウゾ……

○馬越委員長代理 一寸氏原君、杉田
君、主稅局長關係ノ御質問ハアリマセ
ヌカ

○氏原委員 アリマセヌ

○馬越委員長代理 ソレデハドウゾ……

○志賀委員 ソレデハ先程ノ第二ノ問
題ニ歸リマス、食糧需給計畫ニ付テ農
林當局ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス
ガ、食糧需給計畫ヲ最近發表サレナク
ナツタノハ、ドウ云フ理由ニ依ルモノ
デアリマスガ、昨年四千三百萬石トカ
云フ統計ガ發表サレテ居リマスガ、ソ
レニ統計ノ誤差トシテ一五%ノモノガ
アルト云フコトハ、多クノ專門家ノ一
致シタ推定デアリマス、是デハ統計ガ
統計ノ用ヲナサナイ、ソレデハ又全國
ノ食糧需給ヲドウ云フ風ニ賄ツテ行ク
カト云フ方途モ中々立チ難イト思ヒマ
スガ、食糧需給計畫ニ對シテ當局トシ
テ、統計ヲ發表ナサル御計畫ガナイ
カ、又ナゼ發表サレナイノカ、其ノ點
ヲ御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 前段ノ御尋ネハ生産
統計ノ問題ダラウト思ヒマス、生産統
計ノ點ニ關シマシテハ、是ハ自由經濟
當時ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ
發表致シテ居ッタデアリマスガ、併
シ戰爭ガ始マリマシテ、國家機密ノ數
字トシマシテ發表ヲ禁ジテ居ッタコト
ハ御承知ノ通りデアリマス、終戰後ノ
狀態ニ於キマシテ、私共ト致シマシテ
ハ、出來ルダケハ發表致シタク存ジ

テ居ルノデアリマスガ、午前中ノ的場
サンデシタカ、御質問ノ際ニモ御答ヘ
申上ゲマシタヤウニ、結局本年ノ生産
統計ニ付キマシテハ、色々問題トナル
ベキ事項ガ多クタノデアリマス、何
レニ致シマシテモ、私共ト致シマシテ
ハ、結局地方カラ出テ來ル數字ヲ擧
以外ニハ、又ソレニ頼ル以外ニハ途ハ
ナイノデアリマス、直接政府ガ自分ノ
手デ生産統計ヲ集メテ居ルノデハゴザ
イマセヌデ、午前中申上ゲマシタヤウ
ノ方法デ以テ集メテ居リマス爲ニ、結
局其ノ數字ハ地方カラ報告ガ參リマシ
タモノヲ頼リニセザルヲ得ナイノデア
リマス、併シ此ノ生産統計數字ハ、地
方カラ出テ參リマスルモノハ結局午前
中申上ゲマシタヤウナ色々ノ制約ノ下
ニ出來テ居リマスノデ、實ハ私共ト致
シマシテハ、關係方面ト折衝致シマス
ル場合ニ當リ此ノ問題ニ付テハ惱マサ
レタノデアリマス、ト申シマスノハ、
是ハ輸入計畫ノ數字ヲ決メマスル一ツ
ノ大キナ資料ニナリマスノデ、地方カ
ラ出テ參リマシタ統計數字ト云フモノ
ニ付テ色々ノ角度カラ、關係方面カラ
再檢討ヲ要請サレテ居ルノデアリマス
シ、具體的ニ共同デ以テ直接個々ノ農
村ニ入リマシテ、個々ノ農家ニ付テ再
調査ヲ致シタ場合モアルノデアリマ
ス、實ハ全國的ニ再調査ヲスルヤウニ
ト云フヤウナ非公式ニ要求ヲ受ケタル
ノデアリマスルガ、併シ其ノ場合ニハ
既ニ全國ニハ立毛ハナイ、結局個々ノ
農家ニ付キマシテ聴取調査ヲセザルヲ
得ナイ、而モ五百萬農家ノ個々ノ農家
ニ再調査ヲ致シマスコトハ到底不可能
ニナリマスノデ、具體的ニ縣ヲ選ビマ
シテ、其ノ縣内ノ又具體的ニ村ノ字、農
家ト云フモノヲ選ビマシテ、之ニ依ツ

テ得マシタ結果ヲ推定スルト云フヤウ
ナコトヲ色々方法ヲ講ジテ參ッテ居ル
ノデアリマス、今マデニ府縣カラ出テ
參リマシタ數字ト云フモノヲ基礎ニ致
シマシテ、兩三回調査ヲ直シテ參ッ
テ居リマス、併シ尙ホ確定の結論ヲ
得ルマデニ至ッテ居ラナイノデアリマ
シテ、サウ云フヤウナ關係カラ致シマ
シテ、本年ハ特ニ此ノ公表ト云フ問題
ガ世間ニ傳ヘラレテ居ルヤウナ狀態デ
アリマス、色々私共モ各方面カラサウ
云フ問題ニ付キマシテ突ッ付カレテ居
ルノデアリマスガ、色々内部的の、國
内的ナ問題トシテ非常ニ苦シイ立場ニ
立ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ間ノ
事情ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

ソレカラ需給計畫ノ點デスガ、是モ
戰爭中ハ總動員機密トシテ需給計畫ハ
全然發表致シテ居リマセデシタガ、
戰後ノ狀態ニ於キマシテ、全體的ノ需
給ノ見透シハ議會等ニ於キマシテモ發
表シタコトモゴザイマス、唯私共が一
番心配致シマスコトハ、是ハ少シ言ヒ
過ギカモ分リマセヌガ、大體日本人ト
申シマス九東洋人ト申シタ方宜シウ
ゴザイマセウカ、悲觀的ノコトニハ非
常ニ興味ヲ持ッノデアリマス、特ニ報
道面ニ於テサウ云フヤウナ點ガ多ク看
取サレノデアリマス、缺點ガ何日續
イタ、或ハ何千萬人ノ餓死者ガ出ル、
斯ウ云フコトハ非常ニ、ニース・ジャ
リニー・ガアルヤウニ思ハレノデア
リマス、元々御承知ノヤウナ非常ニ食
糧ノ不足ノ際デアリマスルカラ、ソレ
ヲ埋メル爲ニ色々努力ヲスルノデア
リマスガ、不足デ、或ハ何千萬人ガ餓
死スルノダト云フ聲ニ餘リニモ過ギ
ル傾向ニアルノデアリマシテ、是ガ一

面ニ於テ食糧ノ先行不安ト云フモノヲ
醸成シ、隨テ昨年ノ末カラ現象ニアリ
マスルヤウニ、不用意ナ政府側ノ言葉
モアツタト思フノデアリマスガ、一面
サウ云フヤウナ空氣ガ醸成サレマシ
テ、愈々露出シ或ハ憂惜ミト云フヤウ
ナ問題ガ起ッテ參ッタ、結局自分ノ首
ヲ自分デ締メルト云フヤウナ窮迫狀
態ニ迫ッテ參ルコトニナルノデアリ
マシテ、此ノ點ハ餘程私共トシテハ、
單ニ官僚主義トカ或ハ秘密主義ト云フ
ヤウナコトデハゴザイマセヌノデ、一
般ノ社會的ナ心理狀態ト云フモノヲ能
ク認識致シマシテ、ソレニ合フヤウナ
風ニヤツテ行カケレバナラヌト思ッ
テ居ルノデアリマス、隨テ此ノ需給計
畫ノ發表ト云フコトハ相當慎重ニ取扱
フベキモノダト私共ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、尤モサウ云フヤウナ點モゴザ
イマスガ、最近ニ於キマシテハ、例ヘ
バ是モ先達テ此ノ委員會デ問題ニナリ
マシタヤウニ、供出ヲスル時ノ發表
モ、皆ガ出サウト思フ時ニハ其ノ數字
ヲ發表スルコトハオモヒノ裨益ニナル
ノデアリマスガ、或ベク出シタナリ
ト云フ時ニハ、逆ニソレガ足踏ミラス
ト傾向ニナルノ同ジデアリマシテ、
相當此ノ點ニ付テノ取扱ハ慎重ニ致サ
ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、尤
モ色々ナ關係モゴザイマスノデ、適當
ナ時ニハサウ云フ點モ發表致シタイ、
斯様ニ考ヘテ居リマスノデ御諒承ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○志賀委員 只今日本人及ビ東洋人ノ
性格ニ責任ガアルヤウナ御答辯デゴザ
イマシタガ、一體今年ノ四月ニナツタ
ラ一千万人ノ人間ガ餓死スルと言ッ
タノハ、誰デモナイ、日本ノ大藏大臣
ツタノデスカラネ、大臣ガ言ッテ居ル
ノデスヨ、サウシテ今マデ日本デハ役
人、政府ノ大官高官ガ言フコトヲ以テ
人民ヲ惑ス、サウシテ惑セバ必ズソレ
ガ事實ニナツテ來ル、今度モ傳家ノ寶
刀トシテ和田農相ガ振廻サウトシテ居
ル、ダカラ恐レルノデス、悲觀的ニ興
味ヲ持ッノハ東洋人ノ性格デアルト
カ、日本人ノ性格デアルトカ云フコト
デハナイ、政府ガサウ云フ風ニサセル
ノデスカラネ、遊澤前大藏大臣ガ是ハ
言ツタコトデアル、果シテ今年ノ四月
ニ一千万人餓死シタカ、ソナコトハ
ナイ、日本ハ非常ニ全體的ニ食糧ニハ
困ッテ居ルガ、ダカラ之ヲ外カラ見
ルハ、ナア、アンダ、アンナコトヲ言ッ
テ騙チヤナイカ、ダカラ日本ノ役人ノ
言フコトハ信用ガ出來ナイカラト、斯
ウ云フコトニモナルノデス、サウスル
ト放出シテ貰ヘル食糧——又我々トシ
テ聯合國側カラ食糧ヲ輸入シテ貰ヘル
コトハ、非常ニ我々自身皆感謝シテ居
ルコトデアリマスケレドモ、ソレヲ却
ッテ阻碍スルヤウナコトヲ政府當局ガ
ヤラレルヤウナ言動ハ、是ハ甚ダマズ
イト思ヒマス、食糧需給計畫ニシテ
モ、之ヲナゼ隠スカ、ソレヲ大膽率直
ニ發表シテ、是シカナイノデ、是デ皆
力ヲ協シテヤラウト、ナゼ率直ニ人民
全體ニ懇ヘテヤラレル態度ヲ執ラレナ
イノカ、何デモ彼デモ機密々々隠シ
テ、時期デナイ、發表出來ナイと言ッ
テヤツテ來タノガ、此ノ戰時中及ビ戰
前カラノ日本ノ官僚ノ習慣デアリマシ
タ、ソレガドウ云フ慘憺タル結果ヲ生
ジタカ、戰爭ノ結果デオモヒニ知ッテ
居ル通りデアリマスガ、サウ云フ點ヲ
率直ニ懇ヘテヤラレルナラバ——日本
人ハソナニ悲觀的ナ性格ハ持つテ居
リマセヌヨ、一生懸命ニヤレル、一生懸

命ニヤレナイヤウニ政府當局ガシテ居
ルノデスカラ、斯ウ云フ點ノ考ヘ方ヲ
根本的ニ改メテ戴キタイト思フノデ
ス、又食糧需給計畫ノ數字ガ發表出來
ナイト言ハレルケレドモ、二合一勾ハ
刺ラナイト言ハレル、或ハ新聞ニ依レ
バ、二合三勾マデソレヲ増サウトス
ル、先程モドウモ物ノ缺點ガ何日續イ
タト云フコトガ出ルト、悲觀的ニナ
ル、サウスルト新聞記者諸君ガサウ書
イタノモ責任ガアルヤウデスガ、サウ
云フヤウナコトデナク、大膽ニサウ云
フコトヲ發表スルト共ニ、今ノヤウニ
二合一勾ヲ保ツト云フノナラバ、是カ
ラ人口統計ヲ推算スレバ、大體需給計
畫ト云フモノハ分ルノデス、然レニ二
合一勾ト云フモノガ現實ニハドウナン
デス、ソレハ刺ラナイト農林當局ハ言
ハレルケレドモ、運配、分配其ノ他ノ
爲ニ一合五勾幾ラシカ輕給シナイコト
ニナル、ソレデ七月ノ期キハ配給ノ七
割何分カ放出食糧、八月ハ八割ニナ
ルト云フ、ソレデ食糧需給計畫ヲ發表
シナイト言ヒナガラ、自分ニ都合ノ宜
イ方ダケハ發表スル、而モ其ノ數字ハ
空配給ノ爲ニ全然糊塗化サレテ居ルト
云フコトニナル、尤モ朝三暮四ト云フ
言葉ハアリマス、猿ニ朝三ツヤツテ晚
四ツヤツタラ怒ツタ、ソコデ朝四ツヤ
リ晚三ツツタト言ッタラ喜ンダ、ドウ
モ是デヤ政府ノヤラレルコトハ此ノ猿
猴ニヤツタヤウニ、イヤソレ以上ニ我
我日本人ヲ猿以下ニ扱フコトニナリハ
シマセヌカ、サウ云フコトノナイヤウ
ニヤツテ戴キタイト思フノデアリマス
ガ、其ノ點ニ付テハ如何デスカ

○楠見政府委員 遊澤大藏大臣ノ言動
デアリマスガ、此ノ點ハ、實ハ私先程
御答ヘノ中ニ加ヘマシタ

○志賀委員 ソレハ分ッテ居リマス、
ソレモアナタノ責任デヤナイデスカ
○楠見委員 政府ノ責任ト申上ゲタノ
ハ、此ノ點デアリマス
ソレカラ需給計畫ノ點ニ付キマシテ
ハ、今マデノ考ヘ方ト申シマスガ、色
色見透シノ付カナイ場合、特ニ先行キ
ガ眞暗ナ場合、需給計畫ノ發表ガ非常
ニ大キナ支障ヲ見ル、混亂ヲ見ルト云
フコトニ付テ申上ゲタノデアリマス
ガ、御話ノ如ク大體ノ見當ハ付キ、又
努力ノ目標ト云フモノガハツキ致シ
マシテ、此ノ目標ニ向ッテ國民全體ガ
需給ノ全貌ヲ知り、ソシテオモヒニ之
ヲ乘リ切ル爲ニ努力シテ行カウデヤナ
イカト云フ觀點ニ於テ需給計畫ヲ公表
スルト云フコトハ、私ハ極メ必要ナ
コトト思フノデアリマス、隨テ是ハ實ハ
先般モ農林大臣カラモ本會議デゴザイ
マシタカ、御答ヘ申上ゲタノデアリマ
スガ、需給計畫ニ付キマシテハ、現在
實ハ農家ノ配給關係ニ付キマシテ、御
承知ノヤウナ麥、馬鈴薯ノ供出方法ガ
從來ト全然違ッタ形態ヲ執ルコトニナ
リマシタ爲ニ、消費面ニ於テ從來ノヤ
リ方、考ヘ方ニ依ル消費量ノ算出ガ極
メテ困難デアリマシテ、隨テ此ノ點ニ
付テ今盛ニ數字上ノ再調査致シテ居
ルノデアリマス、是ガ出來次第、需給
計畫ニ付テハ公表シ、又全國民ノ理解
ヲ深メ、食糧危機突破ノ爲ノオモヒノ
協力ノ度ヲ深メルト云フヤウナ方向ニ
持ッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○志賀委員 最後ニモウツ御聽キシ
タイト思ヒマス、此ノ食糧緊急措置ト
云フモノハ獨リ農家ノニ關係ヲ有スル
モノデハナク、工業生産全體ニモ關聯
ヲ持ッノデアリマシテ、北海道デハ
今炭坑地方デ坑夫ハ一日四時間シカ働

今炭坑地方デ坑夫ハ一日四時間シカ働

ケヌノデス、モウ腹が減ツテ働ケヌ、ソレゾ、クサト坑内カラ出テ行ツテ、自分ノ家ノ菜園ヲ耕シテ馬鈴薯ヲ植エタリ、其ノ手入レヲスルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデス、又九州ノ炭坑地方デモ、是ハ私共ガ一般的ナコトヲ申スノデハナク、九州石炭鑛業會長ノ陳情書デアリマススケレドモ、現在ニ於テハ六月上旬ニ比シ三〇〇石炭ガ減産シテ云ルト云フノデス、ソレデ勞務者加配ハ五月二十日、勞務者家族ノ加配ハ五月十四日ニ止リ、運配並ニ缺配シテ七月ノ食糧見込立タザル爲ニ五五〇減産ニナルヤモ圖ラレズ、此ノ儘推移スレバ治安ノ維持モ確保シ難シ斯ウ云フ風ナ陳情ガ當局ニ對シ出サレテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ石炭ト云フ、一國ノ工業ニ執ツテ人間ノ食糧ノヤウナ物ガ無イ爲ニ、益々全體ノ生産ガ萎縮シ、ソレガ甚イテハ農家方面ニモ及ブト云フコトニナツテ居リマス、コ、ハドウシテモ今マデノヤウナヤリ方デナク、根本的ニ之ヲ解決シナケレバナラナイ、食糧緊急措置令ト云フヤウナ上カラ押ヘ付ケルヤリ方デナクテ、人民自身ガ積極的ニ此ノ今ノ日本ノ慘境タル、狀態ヲ繰返サナイ爲ニ、本當ノ愛國心ニ基ク活動ヲシナケレバナラナイと思ヒマス、今マデ戰爭中ニ於テ能ク上ノ方カラノ所謂國民運動ト云フモノガアリマシタガ、食糧非常突破聲明ナカ見テモ、ドウモ其ノ時ノ繰返シヲ我々ニハ思ヒ出サセル、是ハドウモ働ク人ノ創意ヲ生カスコトニ依ツテヤツテ行ク必要ガアル、御承知ノヤウニ長イ間抑ヘ付ケラレテ居タノデ、日本ノ人民ハ直接國家ノ政治、其ノ他生産ノ管理ヲシ得ルヤウナ所マデハ行ツテ居リマセヌ、經營スル所

マデハ行ツテ居リマセヌガ、今ノ民主主義ノ時代ニハ益々サウ云フ方向ヘ人民ヲ協力サセルヤウニスル、最初ハ緊急措置令ノヤウナ内容ノモノデモ、人民自身、農家ニ於テハ供出ハ農家自身農民組合ノモノ、其ノ他ノ組織ノ媒介ヲ以テヤツテ行クヤウニ、都市ノ食糧管理モ其ノ他ノ事業モ、ヤハリ其處ノ消費者ノ代表ヲ參加シテヤラセ、斯ウ云フヤウニシナケレバ迎モヤレナイ、我々ハ之ヲ人民管理ト云フ風ニ呼ンデ居ル、其ノ第一歩カラデモ宜イ、始メタイト思ツテ居ルノデス、斯ウ云フ風ニヤラナケレバ迎モ此ノ危局ハ突破出來ナイ、唯上カラ、議會ノ後日ノ承認ヲ得ル爲ニ勸令ヲ以テ頭カラ臨ンデ掛ル、ソレデソレレ傳家ノ寶刀ト呼ブ、サウ云フヤリ方デハイケナイ、御承知ノヤウニ關係方面デハ、日本刀ヲ持ツテ居ル者ハ皆取上ゲルト云フコトニナツテ居リマス、恐ラク此ノ傳家ノ寶刀モ日本刀デアラウト思ヒマスガ、此ノ際御返シニナツタラドウデスカ、サウ云フ風ニ上カラ傳家ノ寶刀デ威スト云フヤリ方ヲスル前ニ、モウ少シ實情ヲ調べテ戴キタイ、人民ノ創意ヲ生カス、之ニ深ク官僚ノ牙城ヲ明渡スト云フ風ニヤツテ行カケレバ、結局スル所アナタ方御自身ノ方デ混亂ヲ招カレルトコトニナルノデス、事實農家ニ傳家ノ寶刀ヲ以テ米ヲ出サセヨウトスルガ、新潟縣ノ例ヲ取レバ、非常ニ米ノ出來ル所デアリマスガ、農家ニハ米ガナイ、然ルニ都市ノ「ブローカー」ノ所ニハ米ガアル、ダカラ東京カラ新潟縣ニ買出シ行クノミ、決シテ農家ニ參リマセヌ、町ノ「ブローカー」ノ所ニ行ツテ買ツテ居ル、斯ウ云フコトハ農林省其ノ他政府ノ關係官廳ハ其ノ實

體ヲ獨シテ居ラレカドウカ、完全ニ處置ヲ誤ツテ居ラレル、例ヘバマダ大阪附近ノ農業倉庫ニハ可ナリ米ガ殘ツテ居ル、無籍米ガ殘ツテ居ル、是レシテカガ今以テ此ノ儘ニ放ツタラカシテアル、ソレデ皆農家其ノ他ノ人々ガ農業倉庫ニアル無籍米ニ付テ發見シヨウトスレバ、例ヘバ枚方ノ例デアリマスガ、ソレヲ禁止スル、人民ノ方デ本當ニ眠ツテ居ル、露サレテ居ル食糧ヲ活用シヨウトスルヲ抑ヘ付ケラレテ居ル、而モサウ云フ風ニ言ハレルマデハ隠シテ默ツテ居ル、サウシテ「ブローカー」其ノ他ニ對シテ旨イ汁ヲ吸ハセ、斯ウ云フヤリ方ヲ根本的ニ改メルニ付テ、モウ少シ人民ニ斯ウ云フ食糧ヲ管理ヲサセル、ソレモ唯今農林省ノ執ラレタヤウニ、下ノ方ニハ末端ダケヲ持ツテ下請ニ使フト云フヤウナヤリ方、官僚ノ下請機關ニスルト云フヤリ方デナクテ、是ト協力シテヤル、進ンデ管理ヲ受ケルト云フヤリ方、之ヲ執ラレル方針ヲ持ツテ居ラレカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○補見政府委員 色々ノ點ニ付テ御意見ナリ御尋ネガゴザイマシタ、第一段ノ石炭ノ問題デアリマスガ、私共モ日本ノ産業ノ再建ノ基礎ハヤハリ何ト申シマシテモ此ノ石炭工業ノ復興、石炭ノ増産ニアルト存ズルノデアリマス、御述べニナリマシタ北海道ノ事例ハ恐ラク先月前アタリマデノ情勢デアツタコトト思ヒマスガ、幸ヒ輸入食糧ヲ放出セラレルトコトニナリマシテ、特ニ石炭工業ニ付キマシテハ最優先的ニ之ヲ確保スル、寧ロ「イヤ・マーク」スルヤウナ考ヘ方デ以テ石炭ニ注込シテ居ルノデアリマス、隨テ石炭ノ問題ハ

獨り食糧問題ノミデハゴザイマセヌデ、其ノ外色々ノ問題ガアツタヤウデアリマスガ、併シ其ノ中ノ大キナ問題ハ食糧問題デアリマスガ爲ニ、其ノ食糧問題ガ今日デハ北海道ハ解決ヲ見テ居ルコトト思ヒマス、又九州ニ付テハ御話モゴザイマシタガ、此ノ點モ私共ツイ三日程前デゴザイマシタガ、現地ノ勞働組合ノ方々、或ハ地方商工當局ノ方々、又商工省石炭廳ノ方々トモ十分ニ話合ヒテ致シマシテ其ノ事情ヲ承ツタノデアリマス、今マデノ配給操作ノ上ニ於テ縣當局ト地方トノ間デ色々考ヘ方ガ濃ツタ點モゴザイマシタガ、差當リノ當面ノ急ヲ救フ問題ト致シマシテハ、是亦輸入食糧ヲ「イヤ・マーク」スルヤウナ形ヲ以テマシテ福岡ノ石炭ヲ確保スルト云フ方向ニ現在進ンデ居ルノデアリマス、マダ司令部カラ正式ノ許可ハ參ツテ居リマセヌノデ、是ハ未ダ發表スルマデニ至ツテ居リマセヌガ、サウ云フヤウナ情勢デゴザイマス、此ノ際ニヤハリ石炭ニ付キマシテモ色々炭坑夫ノ方々ガ創意ヲ用ヒテ、一面血ノ出ルヤウナ此ノ食糧ヲ確保スルト同時ニ、一面増産ニ付テモ色々方策ヲ講セラレテ居ルヤウニ伺ツタノデアリマス、ソコデ御尋ネノ人民管理ノ問題デアリマスガ、御話ニアリマシタ如ク實際ノ仕事ヲ、國ノ色々ノ行政ヲヤツテ參リマス場合ニ獨占的ニナラヤウナコトハ絕對ニ避ケナケレバナラナイノデアリマス、今日議會ハ民主議會トシテ再生ヲ致シテ居ルノデアリマス、又實際ノ例ヘバ食糧ノ運營ニ付テ申シマシテモ、市町村デ食糧調整委員會ト云フモノヲ設ケ、又上デハ各政黨政黨ヲ超越シテ議會ニ於ケル食糧ノ對策委員會ト云フモノガ出來テ、色

色政府ノ施策ヲ鞭撻シ又推進ヲシテ戴ク、斯ウ云フヤウナ方向ニ現在向フコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ中間ニ於キマシテモ食糧管理ニ於テハ、例ヘバ業務運營委員會ト云フヤウナモノヲ消費者代表或ハ從業員代表ト云フヤウナモノガ加ハツテ參ルトカ、或ハ又隱退職ノ問題ニ對シマシテも官民合同ノ委員會、是ハ今マデノセウナ獨善的ナ隱退職ノ摘發デアラシクシテ、官民合同ニ依ル「フェア」ナ、明カナ狀況ノ下ニ於ケル隱退職ノ供出促進ヲ圖ツテ行カウト云フ風ニ、出來得ル限りサウ云フ方向デ私共ト致シマシテハ微力ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイと思フノデアリマス

○志賀委員 甚ダ不足ナ答辯デアリマスガ、他ノ委員諸君ノ發言ノ關係モアリマスノデ、私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○馬越委員 長代理、堀川恭平君

○堀川委員 今マデ皆様方ガ農林關係ノコトニ付キマシテ十分御質疑ナサイマシタノデ、私此處ニ重複スルコトヲ止メル次第デアリマス、又相當長ク委員會ガ繼續シテ居リマス關係上、唯一、二ノコトヲ御聽キ致シタイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

先般議會ニ於カレマシテハ家畜ノコトニ對シテハバリ貧ノ方向ニ向ツテ居ルノデ、ソレニ對スル對策トシテハ何モ持ツテ居ラナイヤウナ御答辯ガアツタヤウニ承ルノデアリマス、食糧増産ニ對スル重大ナル關係ヲ持ツ所ノ畜產關係ニ關シテ一應御聽キ致シタイ、斯様ニ存ズルノデアリマス、畜產ト肥料トノ關係、即チ我が國土ニ於キマシテハ、無論化學肥料ガナケレバ増産ハ不

可能デアルノデアリマスガ、化學肥料ノミデ相當年間ヤツテ行クト云フコトハ土地ノ荒廢サセル原因ニモナラウ、我が國ト致シマシテハ化學肥料ト畜肥トヲ合シテ増産ニ挺身スルコトコソ本當ノ肥料ノ價值ガ出ルノデアリナカ、斯様ニ在ズルノデアリマス、又畜産ト有畜養業トノ關係、又畜産ト運輸、原動力デアル所ノ小運搬トノ關係、又畜産ト都市ノ衛生保健、即チ重病人或ハ乳兒用ト云フヤウナモノニ對シテノ政策ノ現狀ニ付テ現在ドウ云フ御考ヘデアルノカ、一應御聽シタイ、斯様ニ存ズルノデアリマス

○補見政府委員 實ハ畜産ノ問題ニ付キマシテハ、本日午前ニ農林大臣カラ全般的ノ畜産振興ニ付テノ方向、及ビ畜産局長カラ詳細御説明申上ゲタノデアリマス、或ハ詳細ノ點ハ速記録等ニ依ツテ御覽願ヒマスレバ結構カト存ズルノデアリマス、尙ホソレヲ註釋致シマシテ私カラ今御尋ネノ點ニ付テ簡單ニ御答ヘ申上ゲテ見タイと思ヒマス、御話ニナリマシタヤウニ畜産ノ振興ト云フコトト、農業ノ今後ノ經營並ニ食糧増産、斯ウ云フ觀點トハ全ク切離スコトガ出來ナイノデアリマス、隨テ畜産振興ト云フ點ニ付テハ、私共モ之ヲ等閑視シテ居ル譯デハナイノデアリマスガ、先般來申上ゲマスヤウナ、本當ニ目先ニ火ガ上テ居ル狀態ノ爲ニ、已ムヲ得ズヤツテ居リマスル措置ガ、結局ジリ貧ノ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、此ノジリ貧ノ狀態ヲ、何トカ事情ノ許ス限リ、或ハ場合ニ依ツテハ少クノ犠牲ガアツテモ、其ノジリ貧ヲナクスルヤウナ方向ニ持ツテ行カケレバナラスト云フコトデ、一應御料問題其ノ他ニ付テモ努力ヲ致シテ居リマ

スコトヲ重テ申上ゲタノデアリマス、勿論御尋ネニナリマスヤウニ、飼料問題ヲ中心ト致シマシテ、色々ノ問題モゴザイマスシ、又自給肥料ノ爲ニハドウシテモ大家畜ノ確保ト云フコトハ必要デアラウト存ズルノデアリマス、小運搬ニ付キマシテモ同様デアリマス、又都市ノ衛生保健ノ關係カラ致シマスル牛乳其ノ他ノ乳製品ノ確保ト云フコトモ、全ク御話ニナルヤウナコトデアリマシテ、結局現在ハ是等ノ問題ガ總テ飼料問題ヲ中心ニ致シマシテ、行詰ツテ居ルヤウナ狀態ナノデアリマス、一面本日午前ニ畜産局長カラ申上ゲマシタヤウニ、種畜ノ整備、畜産ノ基本的施設ニ付キマシテハ、並行的ニ何時デモ畜産振興ノ上昇線ニ復歸出來マスヤウナ態勢ハ整ヘツ、アリマスガ、一面ニ於キマシテ飼料問題ガ一番大キナ支障ニナツテ居ル爲ニ、此ノ惡影響ヲ出來ルダケ早ク切ルト云フ方向ニ、現在努力ヲシテ居ルヤウナコトデアリマス、概略ノコトダケヲ御答ヘ申上ゲマス

○堀川委員 私丁度午前中休ンデ居リマシタノデ、大臣ノ御話ガアツタト致シマスレバ、又速記録ヲ見マシテ、ソレニ對シテ又ノ機會ニ御尋ネサタイト存ジマスガ、差當リ次官ト致サレテハ、出來ルダケヤツテ見タイガ今ノ所ハドウニモ仕樣ガナイ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、家畜ガ現在ノヤウニ少クナリ、又是レ以上少クナツタト致シマシタラ、此ノ復舊ニ二年ヤ三年デハ到底元通りニナクコトハ覺東ナイト思フノデアリマス、デ之ヲ出來ルダケ維持シナケレバナラスト云フコトハ無論當局モ其ノ御考ヘデアラウト思フノデアリマスガ、現在ノヤウナ飼

料ノ不足ノ時期、即チ未利用資源マデモ人間ガ食フト云フヤウナ時期デアリマスガ、其ノ未利用資源マデ人間ニ出シテ居ルノニ、家畜ニ飼料ノ配給、未利用資源ノ如キ飼料ノ配給マデナイガ爲ニ、農家トシテ或ハ曉馬ト致シマシテハ、或ハ關デ麥ヲ買ヒ、サウシテ家畜ニ人間ノ主食デアル所ノ麥ヲ食ハシ、人間ガ未利用資源ヲ食ハナケレバナラスト云フヤウナ、左様ナ政策ハ以テノ外デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ現在乳牛ノ需要量ハ二十一年六月現在ニ於キマシテモ、全國デ乳牛ガ十八萬九千頭、ソシテ是カラ搾ル所ノ牛ガ七萬頭ト假定致シマシテモ、乳量ハ八萬石デアルノデアリマス、所デ之ニ對シテ無論飲用或ハ煉粉或ハ「バター」ト云フヤウナモノヲ造ラレマセウガ、結局ノ所一歳未満ノ乳兒用ノ需要量ガ七十四萬石、二歳以下ガ三十三萬石、重病人ガ一萬三千石ト云フヤウナ數量ガ要ルノデアリマシテ、結局ノ所百萬石不足ニナルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、是デハ今後日本人ノ青少年ヲ育テテ行クノニ、其ノ一歳二歳ノ者ヲ殆ド殺シテシマウヤウナコトニナルノデアリナイカト云フコトモ心配サレルノデアリマシテ、私ソレニ對シテ飼料ノ輸入ト云フコトニ對シテモ、政府トシテ相當御努力ヲ下スツテ居ル譯ニ存ズルノデアリマス、先般、昨日デアリマシタカ、次官ニ於カレマシテハ三十何萬「トン」カノ輸入許可ヲ貰ツテ、其ノ第一船ガ名古屋ニ入ツテ居ルノダト云フコトモ聞キマシタガ、此ノ輸入ノ數量ガ三十萬「トン」許可ニナツタ、ソシテ其ノ第一船ハ既ニ人間ニ食ハシタト云フコトモ聞クノデアリマスガ、

昨日ノ御答辯デハハッキリトハ申サレナカッタヤウデアリマスガ、飼料ノ點ヲ御覽キシタ其ノ御返事ニ、名古屋ニ第一船ガ入ツテ、相當其ノ方ニ向ケテ居ルト云フヤウナコトモ御答辯ガアツタヤウニ思フノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテ政府ト致サレマシテハ、其ノ人間ガ食ツテモ食ヘナイヤウナ未利用資源ヲ相當確保サレル、或ハソレニ麥ノ現在ノ「アノ」精白「三分搗」七分搗ニスルカ或ハ精白ニスルカシテ、之ヲ配合ナサツテ、サウシテ本當ニ我々ガ口ニ入レル所ノ主食デアル麥ヲ出サスト云フコトノ方ガ一舉兩得デナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御考ヘハドウデアリマセウカ

○補見政府委員 畜産ノ問題ニ付テ、特ニ飼料ノ問題ニ付テ堀川サンノ只今前提ツテ言ハレマシタコトニ付テ多少誤解ガアルトイケマセウカラ、モウ一度申上ゲテ置キタイと思フノデアリマスガ、私ノ申上ゲマシタノハ出來ルダケヤリタイガ現在ハヤレナイノダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリナイノデアリマシテ、出來ルダケ此ノデザリ貧ノ狀態ヲ展シタイ、隨テ現在ハ場合ニ依ツテハ非常ニ食糧其ノ他ノ關係カラ見ルト實ハ苦シイノデアアルケレドモ、其ノ線ヲ越エテ之ヲ飼料ノ方ニ廻シテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、例ヘバ乳製品ヲ確保致シマスル爲ニ、又乳牛生産農家ノ飼料ヲ確保致シマスル爲ニ、牛乳ニ付テノ所謂綜合供出ト申シマスガ、サウ云フヤウナコトヲヤツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、未利用資源ノ點ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、本來未利用資源ニ付テハ全ク堀川サンノ御話ノヤウニ、サウスベキモノダト私モ考ヘテ居リマ

ス、ソレデハナゼ現在ノヤウナコトニシタカト申シマス、是モ豫テ申上ゲテ居リマスヤウニ、ドン底ニナツテ參シテ、結局此ノ生ヲ繋グ爲ニハ、如何ナルコトヲシテモ生ヲ繋ガザルヲ得ナイト云フヤウナ、極メテ窮迫シタル狀態ヲ豫想シ、此ノ狀態ヲ棄切ル爲ニ現在ノヤウナ未利用資源ノ活用ヲ圖ツテ來タノデアリマス、本年ハ恐ラク是ガドン底デラウト思フノデアリマス、一面御話ノ如ク本年斯ウ云フヤウナモノハ寧ろ飼料ニ展シ、飼料ニ廻サレテ居ル麥ナリ或ハ米ト云フモノヲ供出面ニ出シテ來ルト云フコトガ本筋デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ昨日申上ゲマシタヤウニ、早クソコニ切換ヘヨシタイ、サウシテ時機ヲ狙ツテ居ルノデアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、方向ト致シマシテハ全ク同感ニ存ジマス

○堀川委員 現在都市ノ曉馬、或ハ小運送ニ於キマシテハ殆ドサウ云フ手ヲ入レル所ガナイノデアリマシテ、是等ノ牛馬ト致シマシテハ、斃レルヨリ外ニ仕樣ガナイと思ヒマスガ、是等ガ斃レダ場合ニハ、運送ノ根拠ヲナス所ノ小運送デアリマスガ、増産サレタ結果ノ食糧デアリ、或ハ材木デアリ、色々ナ物ニ對シテノ運搬ガ利カナルデヤナイカ、斯様ニ存ズルノデアリマスガ、今年ニナツテカラ馬ニ一回、牛ニ一回位ノ配給量デハ、現在ノ馬ハ唯生キテ居ルト云フダケデアリマセウカラ、アノ牛馬、家畜ガ物ヲ言フノデアリマシタラ、或ハ食糧「メーデー」ヲヤツテ居ルカモ知レスト思ヒマス、ソレガ現在直チニ死ンデ行ツテ居ルコト云フコトニ對シテ、今申上ゲマシタヤウ

ニ糠ノ増量ヲナス、米ヲ白ニスル、或ハ麥ヲ今ノヤウニ支麥デ配給スルコトヲ止シテ、相當白ニシテ是等ヲ相當社配給スルコト云フコトガ、輸入飼料ニ俟ツマデモナク、相當量ガ直チニ出ルノデハナイカ、斯様ニ存ズルノデアリマス

○補見政府委員 都市ノ輓馬ニ付テノ問題デアリマスガ、是ハ能ク御諒承願シテ置キタイト思ヒマスコトハ、御話ニナリマシタコトハ何レモ御尤モダト私ハ思フノデアリマスガ、併シ全體ノ飼料事情ハ、或ハ私ヨリモ堀川サシノ方ガ御詳シイカトモ存ズルノデアリマスガ、結局苦シイ物ヲドウ云フ風ニ分ケ合フカト云フコトデアリマシテ、一番本ヘ行ケバ人間ト家畜ノ分ケ合ヒ、又家畜ノ中ニ入ッテ來マス乳牛トソレカラ重要飼料、其ノ他ノ或ハ木材等ノ運搬ト云フヤウナモノト分ケ合ヒ、更ニ又都市小運送トノ分ケ合ヒ、斯ウ云フ風ニ同ジ部門ニ於キマシテモ、ドウシテモサウ云フ順位ガ自ラ付カザルヲ得ナイノガ、現在ノ情勢デアリマス、サウシナイデ、平均シテシマスルト、結局皆ガ共倒レニナル、斯ウ云フヤウナ結果ニナラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ糠ノ問題ニシテモ同様デアリマシテ、例ヘバ東京ノコトヲ考ヘテモ、東京ニハ殆ド米ハ入ッテ來ナイノガ現状デアリマス、是ガ通常ノ状態デドシノ米ガ入ッテ來、或ハ營團アタリモ手持ガ二週間以上モ持テ得ルヤウナ状態デゴザイマスレバ、糠ノ搾油ト云フヤウナコトモ考ヘラレノデアリマスガ、現在デハ米ガ御承知ノヤウナ状態デアリマスノデ、結局ソレガ出來ナイ、ソレデハ此ノ外麥ノ問題ニ致シマシテモ歩留リヲ現在

ハ御承知ノヤウニ九十三カラ九十四位マデ引上ゲテ居ルノデアリマスガ、之ヲ少シ歩留リヲ低クスレバスルダケ配給シナケレバナラヌ量ガ多クナツテ來ル、結局今申シマシタヤウニ、少イモノヲドウ云フ風ニシテ分ケ合フカト云フ爲ニハ、ドウシテモ一部ニ於テ十分分ナ、又不満足ナ點ガ出テ來ルノハ或ル程度已ムヲ得ナイコトデアラウト思ヒマス、併シサウカト申シマシテ、何時マデモ斯ウ云フ状態デモイケナイノデ、先程來申シマスヤウニ之ヲ少シハモ改善スルヤウニ努力サスベク私共ハ考ヘネバナラヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、此ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○堀川委員 又ノ機會ニ速記録ヲ讀マシテ戴キマシテ質問シタイト思ヒマスガ、最後ニアノ三十萬(トシ)ノ飼料ガ許可サレタ、之ニ對シテ飼料ニ一體ドウノ位程度御渡シニナル積リデアリマセウカ、ソレヲ御聽キシタイ、ソレカラモウツハ金融ノ部面デアリマスガ、家畜ヲ商人ニ賣ルノニハ現金デ入ル、兎ニ角家畜ヲナクスルコトニ有利ニナツテ居ル、農家或ハ其ノ他ノ買入レニ對シマシテハ封鎖デアル、到底買入レガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ關係ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點モ何トナク御考ヘニナツテ下サレタ方ガ家畜ノ存續ト云フコトニ對シテ相當有利デナイカト私ハ考ヘルノデアリマス

○補見政府委員 第一點ノ點ノ三十萬(トシ)ト云フコトハ、實ハ全然マダ發表サレテ居ラナイト思ヒマスシ、恐ラク是ハ發表出來ナイデヤナイカト思ヒマスガ、私ハ三十萬(トシ)ト云フ數字ハ承知致シテ居リマセヌ、此ノ事ハ實ハ非常ニ「デリケート」ナ問題デアリマスノデ、先般申上ゲタノデアリマスガ、非常ニ食糧ガ不足ダト云フコトヲ世界ニ宣傳ヲシテ居ル國カラ是ガ入ッテ來ルノデアリマスカラ、若シサウ云フコトガ出マスト非常ニ微妙ナ一將來其ノ點ニ付テハ輸入ガ止マル、斯ウ云フヤウナ事態モ考慮サレマスノデ、サウ云フコトハ一切發表サレデ居ラナイノデアリナイカト私ハ思ヒマスガ、其ノ發表如何ハ別ト致シマシテ、三十萬(トシ)ト云フコトハ私ハ實ハ承知致シテ居リマセヌ、唯飼料事情ニ付テハ、國內ノ色々逼迫シタ狀況ニ付テモ特ニ關係方面デハ同情ヲ以テ努力ヲシテ與レテ居ル、サウシテ著々是ガ實行ノ緒ニ就イテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ宜イト存ズルノデアリマス

○原委員 恐ラク斯様ナコトガ現在ノ農林當局ニ分ツテ居ル管ハゴザイマセヌ、昨年ノ九月十六、十七日災害ト云フモノガ地方廳カラ中央官廳ニ報告サレテ、ソレニ對スル補助ノ指令ガ出テ、而モソレガ著手ヲサレテ居ルト云フヤウナコトハ殆ド全國ノニハゴザイマスマイ、私ノ選舉區ノ如キハ、昨年ノ九月災害ニ依ッテ相當廣面積ノ荒廢林地ヲ出シマシテ、是ガ復舊計畫ヲ立テテ農林省ヘ補助ノ申請モシテ居リマセケレドモ、未ダ一箇所トシテ著手ニナツテ居リマセヌ、ト同時ニ農林省關係ノ耕地ノ復舊事業等ニ付テモ殆ド其ノ緒ニ就イテ居リマセヌ、私ハ農林省ハ斯様ナ役ニモ立タヌ緊急勅令ノヤウナモノヲ振廻シテ、直接ニ之ニ依ッテ、百姓ヲ威カシツケテ何十萬石カノ供出ガ出來タカモ知レマセヌケレドモ、一體ハ根本的ニ本末ヲ顛倒シテ居ルノデハナイカ、昨日及ビ本日ノ新聞ヲ御覽ニナツテモ御分リノ通り、九州及ビ山陽、各地域ニ於テ相當ノ豪雨ガアツタガ爲ニ、耕地、橋梁ノ流失、堤防ノ決潰ト云フモノガ相當澤山ノ數ニ上ツテ居ルト云フコトガ報道サレテ居リマス、私ハ早速此ノ地方ニ於ケル雨量ニ付テ其ノ專門ノ機關ニ付テ調査ヲシテ見マス、新聞ニ豪雨ダト出テ居リマセケレドモ、全體ノ雨量トシテハ極ク僅カノ雨量デアツタト云フコトヲ承知スルコトガ出來マシタ、是ハ一體何デ

アルカ、其ノ僅カノ雨量デ以テ各河川ガ氾濫スルト云フコトハ一體何デアルカト云フナラバ、是ハ去年ノ災害ニ對シテ農林省ガ手ヲ打ツテナカツタト云フコトガ一番大キナ原因ナラデス、私モ農林省ノ山林局ノ祿ヲ食ンデ居ツタコトガアリマスカラ、聊カ其ノ點ニ付テハ專門の知識モ持ツテ居リマスケレドモ、林地ガ荒廢スル、ソレニ對スル砂防工事モ何等施サレナイト云フコトハ、結局其ノ土砂ヲ次ノ雨ノ降ツタ機會ニ河川ニ向ツテ流シ込ム道ヲ開ケルコトニナル、私ノ選舉區ノ六ツノ河川ノ工事ニ付テ調査シタ所ニ依ルトゾレム、ノ河床ガ最高四尺、最低一尺六寸高クナツテ居ル、ソレハ勿論戰爭中ニ於ケル過激濫デト云フコトガ本質的ナ原因デアリマシタケレドモ、其ノ過激濫デハ對シテ農林當局ガ、國有林地云ハズ民有林地云ハズ、所謂植伐ノ均衡ヲ取ルヤウナ計畫ヲ立テテ推進スルコトガ出來ナイデ、唯片端カラ伐ツテシマフコト云フコトヤツタ所ニ其ノ根本的ナ原因ガアツタ譯デアリマス、隨ヒマシテ私共カラ言ヒマスレバ、農林當局ハ此ノ緊急措置令ヲ振廻ハスコトニ依ッテ、自分自身ノ責任ヲ回避スルコト云フコトニナルノデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、一體去年ノ九月災害ト云フモノニ對スル復舊計畫、特ニ農林省關係ダケデモ結構デスガ、荒廢林地ノ復舊、耕地復舊ニ對スル事業ト云フモノハ何時ニナツタラ其ノ緒ニ就クノデアリマスカ、恐ラク私ハ八日、九日ノ西日本ニ於ケル水害ニ依ッテ何十萬石トモ言ヘナイ減收ガ現實ノ問題トシテ起ツテ居ルト思ヒマス、現ニ私共ノ地域デハ二期作ヤツテ、早イ所デハ既ニ總ヲ合

シテ居リマスガ、先月十五日カラ二十
二日頃マデノ梅雨期ノ降りミ降ラズミ
ト云フ天氣デ、雨ノ降ツタ分ダケデモ
河床ガ高クナツテ居リマスカラ、折角
灌漑シテ一期作ノ水田ニ對シテ相當
ノ減收ニナル、強權發動ト云フヤウナ
コトニ依ツテ供出ヲ期待スルコト云フ小
手先ノコトヲ御考ヘニナル前ニ、ナゼ
政府ハ、農林省ハ根本的ナ治水對策、
或ハ耕地ニ對スル災害防除ト云フコト
ヲ根本的ニ御考ヘニナラナイノカ、具
體的中上デマスナラバ、一體昨年ノ
九月災害ト云フモノニ對スル荒廢林地
ノ復舊工事トカ、耕地ノ復舊工事トカ
ニ對シテ、凡ソ何時頃マデニ御ヤリニ
ナリ、何時頃マデニ農民ノ根本的ナ、
本質的ナ耕作ニ對スル不安ヲ除去スル
ト云フ御考ヘデアルノカ、此ノ點ヲ先
ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○梶見政府委員 災害關係ニ付キマシ
テハ、是モ實ハ御缺席ノ際ニ森林地ノ
問題ニ付テ概括的ナコトヲ私カラ申上
ゲタノデアリマスガ、御話ニナリマシ
タヤウニ、最難ノ風水害ガ昔ニ比ベテ
特ニ甚ダシイ、此ノ原因ハ戰時中ニ於
キマスル植伐不均衡ニアツタコトハ申
上ゲルマデモナイノデアリマス、山林
關係ニ居ラレタト云フ御話デアリマス
ノデ、寧ロ詳細ハ私ヨリモ御詳シイト
存ジマスカラ、簡單ニ申上ゲルコトニ
致シマスガ、御承知ノヤウナ山林治水
事業並ニ災害防止施設ト云フモノハ年
度計畫ニ從ツテ現在來テ居リマスけれ
ドモ、偶々此ノ年度計畫ノ末期ニモ近
付イタノデ……

○氏原委員 サウ云フコトハ此ノ間ア
ナタカラ伺ヒマシタ、サウデナシニ、
モット簡單ニ、去年ノ災害ニ對シテ一
體何時マデニ全國的ニヤルト云フノデ
スカ、ソレダケデス
○梶見政府委員 昨年ノ水害復舊工事
ニ關スル經費ト致シマシテ、本年復豫
算ニ於テ一億一千六百萬圓ヲ計上スル
計畫デアリマス、既ニ御覽ヲ經マシ
タ追加豫算ニモ其ノ一部ハ入ツテ居ル
ノデアリマシテ、本年度分ハ既ニ著工
致シテ居リマシテ、事柄ノ性質上或ハ
二年計畫ヲ済ムモノモアリマスシ、或
ハ三年計畫ニシテモモアリマス、私
ノ承知シテ居リマスノハ此ノ程度デゴ
ザイマシテ、尙ホ詳シイコトハ他ノ機
會ニ他ノ政府委員カラ御答ヘスルコト
ニ致シタイト思ヒマス

○梶見政府委員 現在ノ和農林大臣、精
見次官ヲ中心トスル農政ニ根本的ナ林
政ノコトヲ御尋ネスルノハ少々無理ナ
話デゴザイマシテ、是ハ尋ネマス私ガ
野暮カモ知レマセム、食糧大臣、食糧
次官程度デアレバ其ノ程度ノコトハ御
分リカモ分シヌガ、林政ノコトハ恐ラク
ハ十分御分リデナイト云フコトハ平素
カラ言ハレテ居ルコトデアリマスガ、
唯一ツ御尋ネシタイコトハ、強權發動
マデシテ底ヲ突イタ食糧ヲ農民カラ取
上ゲナケレバナラヌト云フ一面ニ於
テ、政府ノ責任ニ於テ災害防除ヲヤラ
ナケレバナラヌト云フコトガ本質的ニ
先行スベキデアルニモ拘ラズ、其ノコ
トニ對シテハ、勿論終戦後ノ色々ナ混
亂或ハ資料ノ不足ト云フヤウナ惡條件
ガ累積シテ居ツタト云フコトハ認メ
ニ致シマシテモ、今年ノ植付ガ終ツタ
ナラバ、直ぐ全國的ニ又暴風雨ノ時期
ガ來テ、折角ノ收穫ヲ流シテシマフコ
トガ來ルデハナイカト云フコト位ハ、
幾ラ頭ノ悪い役人デモ、大體ハハ心配
ヲスルノガ當然ノコトダト思ヒマス

ガ、昨年九月ノ災害ニ對スル本年度ノ
所謂改修工事ナドト云フモノガ出來テ
居ナイバカリデナク、私ノ調査スル所
ニ依ルト、全國ヲ通ジテ昭和十八年度
ノ災害ノ時ニ荒廢林地ノ復舊計畫ト
云フヤウナモノハ、殆ド四〇〇〇〇位シカ
進行シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナコト
ノ責任ヲ誰モガ取ラナイデ、河ハ雨ガ
降ツタガ爲ニ堤防ガ切レタノダ、山ガ
崩レタノ爲ニ上流カラ土砂ガ流れタノ
ダ、ソレデ河床ガ高クナツタカ僅カ
ノ雨デモ田畑ヘ出水シタノダ、斯ウ云
フ風ニ簡單ニ所謂責任ヲ免ル、ヤウナ
コトデハ、私ハ絕對ニ食糧問題ナドト
云フモノノ解決ハ付カナイト思ヒマ
ス、是デハ一面ニ於テ開拓局ヲ捲ヘ、
新シイ耕地ヲ得ヨウトシテ居リマスル
ガ、一面ニ於テア美田良田ヲ水ニ流シ
テ、サウシテ之ヲ犧牲ニスルコトニ依
ツテ農民ニ難ノ河原ノ石積ノヤウナ、
洵ニ薄イ所ノ努力ヲ積重ネサセル結果
ニナルト思フ、私ハ農林次官ガ責任ヲ
以テ確信ヲ以テ此ノ委員會デ御言明ガ
出來ナイトスルナラバ、別ノ機會デモ
結構デアリマスルニガ、昭和二十年ノ九
月災害ト云フモノニ對スル農林省關係
ノ災害復舊工事ト云フモノハ、少ク
モ萬難ヲ排シテ何時頃マデニ何年度中
ニ大體片付ケテ行クノダ、斯ウ云フ
コトニ對シテ責任ヲ確信ヲ持ツタ所
ノ一ツ御答辯ヲ戴キタイト同時に、先
程ノ昭和二十年災害ニ對スル所ノ現在
ノ災害工事ノ進捗率ト云ツタヤウナモ
ノ、書面ヲ持ナシテ成ルベク早イ
機會ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、
此ノ問題デハ打切りマス

次ニ農林省ノヤツテ居リマスル耕地
整理事業デアリマスルコト、或ハ耕地
ノ造成事業ト云フヤウナモノニ付テ、是
ハ一體農林省ニハ一ツノ家流トデモ
申シマスルカ、農林省ソレ自體ガ持ツ
テ居ル所ノ技術トデモ申シマスルカ、
何時ノ場合デモ少シ思ヒ切ツタ計畫ヲ
立テマシテ、サウシテソレニ依ツテ耕
地ヲ大幅ニ造リ上ゲテ行クト云フヤウ
ナ工事ノヤリ方ヲヤラナイデ、ホシノ
小手先ノ鼻義ヲ行燈ヲ貼ルト云フ
言葉ガ私共ノ國ノ方言ニアリマスル
ガ、直グニ破レテシマフヤウナコトヲ
オヤリニナツテ、サウシテソレニ依ツ
テ役人ノ頭數ダケハ幾ラデモ役所ニゴ
ロゴロシテ居ルト云フヤウナ傾向ガア
ルノデゴザイマス、譬ヘテ申シマスル
ト、耕地整理ヲヤリマスル場合デモ、
墾田ノ底ニ耕地ガアルトスルナラバ、
何時ノ場合デモ其ノ墾田ノ淵ノ嵩上ゲ
ヲスル、例ヘバ堤防ノ嵩上ゲヲスルコ
トニ依ツテ耕地整理事業ヲヤラウトス
ル、思ヒ切ツテソレヲ「トンネル」水路
ト云ツタヤウナ雄大ナ計畫ヲ立テテ、
根本的ニ冠水地帯、沼澤地帯ヲ美田化
スルト云フヤウナ根本的ナ工事ヲヤラ
ナイ、斯ウ云フヤウナ傾キガ非常ニ多
イノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ農
林省ハ現在耕地整理事業其ノ他ニ依ル
所ノ工法ニ對シテ、一ツノ思ヒ切ツタ
革新ヲ斷行スルコトニ依ツテ、本質的
ナ根本的ナ工事ノ目的ヲ達スルヤウニ
一ツ技術障ノ所謂頭ノ入替トデモ申シ
スルカ、サウ云フヤウナコトニ付テ何カ
大體ニ於キマシテ全國ヲ通ジテ百ニ近
イ大中小都會ガ戰災ニ依ツテ燒カレタ
ノデアリマスガ、サウシテ之ニ對スル
務省ヲ通ジテドンノ認可ニモナツテ

居ルヤウデアリマス、所デ此ノ都市計
畫ニ付ヒマシテ私共ガ考ヘテ行カケ
レバナラヌコトハ、戰災都市ニ對スル
所ノ綠化地帯ト云フモノガ相當廣汎ナ
ル面積ニ互ルト云フコトガ豫想サレテ
居ル、所ガ之ニ對シテ一體農林省バド
ウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、戰災都市
ノ綠化ト云フコト、其ノ綠化地帯ニ
對スル所ノ所謂食糧問題トノ關聯ト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカ、譬ヘ
テ申シマス、從來ノ都會ニ於ケル並
木ト云フモノガ何時ノ場合デモ「ボ
ラ」トカ「ブラタナス」トカ云フヤウナ
外國カラ移植シテラレタ所ノ所謂外國
ノ模倣並木ヲ作ツタリ、或ハ又觀賞用
ノ餘り役ニモ立タナイ唯珍シイト云フ
コトダケデ樹木ガドンノ植エラレ
テ居リマシタガ、私ハ今日以後ノ日本
ニ於テハ、此ノ點ニ付テハ或ル人々ハ
食糧ノ恐慌ト云フヤウナ問題ヲ心配セ
ラレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、
サウ云フコトヲ考ヘテモ、尙又將來ノ
日本ノ都會ニ於ケル所ノ綠化地帯ト云
フモノニ對シテハ、例ヘバ所謂果樹園
藝ト云フヤウナモノ、或ハ特用作物ト
云フヤウナモノガ藝術的ニ、而モソレ
ガ實利ヲ伴ツテ計畫ヲサレナケレバ
ラス、例ヘバ東京ニ於ケル並木ハ私ハ
柿、栗、桃ト云ツタヤウナ食用果樹類
デ宜シイ、或ハ場合ニ依リマシテハ氣
候ニ依ツテハ胡桃デアルトカ、無花果
デアルトカ云フヤウナモノガ都會ノ並
木ニ並シテ居ツテ、時ガ來レバ幾ラカ
デモソレガ食糧トシテ供給セラレルト
イカ、而モ此ノコトハ今カラモウ既ニ
何等カノ方針ヲ農林省トシテモ立テ
テ、苗木ノ育成デアルトカ云フヤウナ
コトヲ考ヘナケレバナラナイ問題デハ

居ルヤウデアリマス、所デ此ノ都市計
畫ニ付ヒマシテ私共ガ考ヘテ行カケ
レバナラヌコトハ、戰災都市ニ對スル
所ノ綠化地帯ト云フモノガ相當廣汎ナ
ル面積ニ互ルト云フコトガ豫想サレテ
居ル、所ガ之ニ對シテ一體農林省バド
ウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、戰災都市
ノ綠化ト云フコト、其ノ綠化地帯ニ
對スル所ノ所謂食糧問題トノ關聯ト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカ、譬ヘ
テ申シマス、從來ノ都會ニ於ケル並
木ト云フモノガ何時ノ場合デモ「ボ
ラ」トカ「ブラタナス」トカ云フヤウナ
外國カラ移植シテラレタ所ノ所謂外國
ノ模倣並木ヲ作ツタリ、或ハ又觀賞用
ノ餘り役ニモ立タナイ唯珍シイト云フ
コトダケデ樹木ガドンノ植エラレ
テ居リマシタガ、私ハ今日以後ノ日本
ニ於テハ、此ノ點ニ付テハ或ル人々ハ
食糧ノ恐慌ト云フヤウナ問題ヲ心配セ
ラレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、
サウ云フコトヲ考ヘテモ、尙又將來ノ
日本ノ都會ニ於ケル所ノ綠化地帯ト云
フモノニ對シテハ、例ヘバ所謂果樹園
藝ト云フヤウナモノ、或ハ特用作物ト
云フヤウナモノガ藝術的ニ、而モソレ
ガ實利ヲ伴ツテ計畫ヲサレナケレバ
ラス、例ヘバ東京ニ於ケル並木ハ私ハ
柿、栗、桃ト云ツタヤウナ食用果樹類
デ宜シイ、或ハ場合ニ依リマシテハ氣
候ニ依ツテハ胡桃デアルトカ、無花果
デアルトカ云フヤウナモノガ都會ノ並
木ニ並シテ居ツテ、時ガ來レバ幾ラカ
デモソレガ食糧トシテ供給セラレルト
イカ、而モ此ノコトハ今カラモウ既ニ
何等カノ方針ヲ農林省トシテモ立テ
テ、苗木ノ育成デアルトカ云フヤウナ
コトヲ考ヘナケレバナラナイ問題デハ

居ルヤウデアリマス、所デ此ノ都市計
畫ニ付ヒマシテ私共ガ考ヘテ行カケ
レバナラヌコトハ、戰災都市ニ對スル
所ノ綠化地帯ト云フモノガ相當廣汎ナ
ル面積ニ互ルト云フコトガ豫想サレテ
居ル、所ガ之ニ對シテ一體農林省バド
ウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、戰災都市
ノ綠化ト云フコト、其ノ綠化地帯ニ
對スル所ノ所謂食糧問題トノ關聯ト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカ、譬ヘ
テ申シマス、從來ノ都會ニ於ケル並
木ト云フモノガ何時ノ場合デモ「ボ
ラ」トカ「ブラタナス」トカ云フヤウナ
外國カラ移植シテラレタ所ノ所謂外國
ノ模倣並木ヲ作ツタリ、或ハ又觀賞用
ノ餘り役ニモ立タナイ唯珍シイト云フ
コトダケデ樹木ガドンノ植エラレ
テ居リマシタガ、私ハ今日以後ノ日本
ニ於テハ、此ノ點ニ付テハ或ル人々ハ
食糧ノ恐慌ト云フヤウナ問題ヲ心配セ
ラレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、
サウ云フコトヲ考ヘテモ、尙又將來ノ
日本ノ都會ニ於ケル所ノ綠化地帯ト云
フモノニ對シテハ、例ヘバ所謂果樹園
藝ト云フヤウナモノ、或ハ特用作物ト
云フヤウナモノガ藝術的ニ、而モソレ
ガ實利ヲ伴ツテ計畫ヲサレナケレバ
ラス、例ヘバ東京ニ於ケル並木ハ私ハ
柿、栗、桃ト云ツタヤウナ食用果樹類
デ宜シイ、或ハ場合ニ依リマシテハ氣
候ニ依ツテハ胡桃デアルトカ、無花果
デアルトカ云フヤウナモノガ都會ノ並
木ニ並シテ居ツテ、時ガ來レバ幾ラカ
デモソレガ食糧トシテ供給セラレルト
イカ、而モ此ノコトハ今カラモウ既ニ
何等カノ方針ヲ農林省トシテモ立テ
テ、苗木ノ育成デアルトカ云フヤウナ
コトヲ考ヘナケレバナラナイ問題デハ

ナイカト云フ風ニ考ヘルノデスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレバカ

最後ニ一ツ申上ゲタイノハ勞務加配ノ問題ニ付テハ地方毎ニ民主的ナ委員會ト云フヤウナモノヲ設ケテ、其ノ運営ヲ適正ニナサルト云フ御方針ト承ツテ居リマス、洵ニ結構デアリマスガ、此ノ委員會ニ對シマシテハ唯單ニ從來ノ官僚ガオヤリニナルヤウナ、官僚ノ言フコトハドンナコトデモヘーノ言ツテ聽クヤウナ御都合ノ好イ委員ダケヲ御集メニナシテ、ソレガ何レカノ團體ニ所屬シテ居ルガ故ヲ以テ消費者代表トカ何トカ云フヤウナ都合ノ好イ考ヘデナシニ、本當ニ民主的ナ團體ノ代表者ヲ御加ヘニナシ御意思ガアルカドウカ、從來工場ニ對スル加配米等ハ主トシテ其ノ工場ノ重役連中ガ妾ノ宅ニ持運シ、或ハ重役ノ所ニ持ツテ來テオ客ノ接待用ニナツタリ、或ハ事務職員ノ家庭ノ不足ヲ補フト云フヤウナコトニ使ハレマシテ、本當ニ勤勞者、勞働者ニ對スル加配米ト云フモノノ使命ヲ十二分ニハ達シテ居ラナイ事實ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、勞務加配ノ爲ニ作ル委員會ノ運営、其ノ委員會ノ本質ト云フモノハ非常ニ官僚的ナ考ヘ方デ律セラルベキモノデハナクテ、本當ニ嚴肅ナ責任ヲ持ツタ委員會ニ作リ上ゲラレナケレバナラヌノデアリマスカラ、念ノ爲ニ一ツ御伺ヒ致シタイ

ラレル、農林省ト云ハズ内務省モデスガ、農林省ソレ自體ノ「イデオロギー」ガサウ云フ方面ニ對シテ非常ニ寛大デアリト云フコトガ考ヘラレル、例ヘバ私共ノ選舉區デハ一里カ一里半位隔ツタ所カラオ客者ヲ迎ヘマスト、米九升ト云フノハ、エライ半端デナイカト言ハレルカモ知レマセムガ、五升ハオ客者サンガ取ツテ、四升ハ車挽ガ取ルノデアリマス、是ハ現ニサウ云フ狀態デア

ル、ソレカラ又「バーマネット」ヲ農家ノ娘サンガ掛ケニ町ニ參リマスト、必ズ米五合以上ヲ提供シマセスト「バーマネット」ヲ掛ケルコトガ出來ナイ、ダカラ髮結ヒサンガ米ヲ持ツテ居ル、オ客者サンノ所ヘ行ケバ米ハ幾ラデモアルト云フコトハ事實デアリマシテ、現ニ私共ハ其ノ米ヲ三俵モ四俵モ集メテ確保シテ居ルオ客者サントモ知合ヒデアリマスガ、サウ云フ方面ニハチツトモ此ノ緊急措置令ノヤウナ權力ノ發動ヲヨウシナイノデアリマス、是ハマルキリ片手落ノ處置デアリマシテ、今申シマシタハ實例ヲ一ツ二ツダケ舉ゲタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ形ノコト、ソレカラ先程志賀君ガ言ハレマシタヤウニ、百姓ヨリモモツト米ノ「ブローカー」、中都市ニ於キマシテ「ブローカー」ヲヤツテ居る連中ノ所ニ米ガ溜山アル、サウ云フヤウナ者ニ付テノ所謂緊急措置令ト云フモノヲ御考ヘニナラナイデ、唯農家其ノ他ノ對象トシタ緊急措置令デハイケナイデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ別ニ何等カノ御考ヘガアルノデアリマスガ、私ハ之ヲヤツテ初メテ只今ノ緊急措置令ト云フモノガ效果ガ夥ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘナイデ、唯一方ノナコトダケ

デハ到底イケナイノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、此ノ點ヲ伺ヒタイと思ヒマス

ソレカラモウ一ツ、是ハ地方問題ニナリマスケレドモ、此ノ機會ニ御答辯ヲ煩ハシタイノハ、高知縣ニ於ケル所ノ早場米ニ對シマシテハ、御承知ノ通り獎勵金ノ制度ガ除ケラレテ居リマス、ナセカト云フナラバ、是ハ高知縣ガ氣候ノ上カラ考ヘテモ當然早ム米ガ出ルンダカラ獎勵金ハ出サナイト云フ農林省當局ノ御考ヘハヤウデアリマスルガ、是ハ高知縣ト雖モ氣候ガサダカラト云フノ別ニ好シデ一回モ米ヲ作り獲ルノデハゴザイマセム、御承知ノヤウニ颯風ノ通過地デゴザイマスカラ、非常ニ颯風ニ遭フ所ノ機會ガ多イノデゴザイマス、ソレデ一期作デ種レナクテモ二期作デ種ル、其ノ代リ二期作ガ全然ナクテモ一期作デ種ルト云フ建前デ行ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ氣候ノ關係デ早く出來テ居ルカラ高知縣デハ早場米ヲ除クト云フコトハ、是ハ農林當局ノ認識不足デハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ全國ト同ジヤウナ取扱ヒヲナサル御意思ハナイカ、之ヲ一ツ御伺ヒタイノデアリマス、御參考マデデアリマスケレドモ、高知縣ノ二期作ニ刺戟ヲサレマシテ、德島縣ノ太平洋岸ニ於キマシテモ、段々ト此ノ二期作ノ面積ガ擴ガリツ、アルノデアリマス、ソレデ德島縣ガ二期作ヤルノニ對シテハ早場米ノ獎勵金ガアルノニ、高知縣ガナイト云フノハ根本的ノ矛盾ガアリマスシ、颯風ガヤツテ來ルノデハ已ムヲ得ズ二度ニ種ルノデアリマスカラ、ソレニハ氣候ノ天惠モゴザイマスケレドモ、サウ云フ關係ニナツテ居ル

ト云フコトヲ根本的ニ御諒解ノ上デ、何分ノニ對スル御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○楠見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、第一番ノ耕地關係ノ技術人ノ頭ノ切替ト申シマスルカ、サウ云フ點ニ付テノ御尋ネデゴザイマシタガ、御話ニナリマシタヤウニ、我が國ノ耕地關係ニ付テノ技術ノ問題ハ、唯單ニ土地ニ付テダケノ問題デハゴザイマセムデ、即チ山林關係ノ技術ト申シマスルカ、知識モ加ヘテヤラナケレバナリマセムシ、又河川關係ノ知識モ加ヘマシテ、結局是等ノ山林トカ河川、或ハ純然タル農業土木、耕地技術ト云フヤウナモノガ綜合的ニ加ハリマセムト、結局未節ダケノ工事ニ終リマシテ、結局其ノ爲ニ全體トシテノ效果ヲ博シ得ナイト云フトニナルノデアリマス、隨テ現在開拓局ニ於キマシテ、耕地關係ノ仕事ヲ扱ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ開拓局ニ於キマスル耕地ノ今後ノ在リ方ト云フモノニ付キマシテハ、今申シマスヤウナ觀點カラ各方面ノ人々ノ知識ヲ注入シ、又土木ニ付キマシテモ、或ハ從來大キナ土木陣營トシテ技術ヲ持ツテ居リマシタ鐵道關係ノ人々ノ知識モ借り、總ツ斯ウ云フ點ニ付テ綜合的ノ觀點ニ於テ、耕地技術ヲヤツテ行クト云フ方向ニ現在進メテ居ルデアリマス、現實ニサウ云フヤウナ擔當ノ課モ設ケマシテ、今申シマスヤウナ方向ニ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

相當注目サレタ問題トシテ取上ゲラレテ居ルノデアリマスガ、私共ノ方ノ山林局ニ於キマシテモ、特ニ此ノ果等ノ問題ヲ中心ニ致シマシテ、色々準備ヲ進メテ居ルヤウデアリマス、詳細ハ私ハソレ以上ハマダ聞イテ居リマセムガ、兎ニ角果ノ問題ヲ中心トシテ相當取上ゲル態勢ニナツテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス

ソレカラ勞務加配ノ點デアリマスガ、此ノ點ハ私共地方長官ニ對シマシテモ、先般モ都道府縣ノ委員會ノ構成分子ニ付テ具體的ニ明示ヲ致シマシテ、例ヘバ勞務組合ノ代表者ノ方々、或ハ消費組合ガアレバソレノ代表者ノ方々、斯ウ云フヤウナ眞ニ産業事情、工業事情、消費事情ニ通ジタ人々、公正人々ニ參加シテ戴ク斯ウ云フコトヲ趣旨ト致シテ居ルノデアリマス、ソレカラオ客者サントカ其ノ他業務ノ對貨トシテノ食糧ノ要求ニ付デアリマスガ、實ハ此ノ業務ノ對貨ト云フ問題ニ付キマシテハ、緊急措置令ヲ制定致シマシタ際ニ併セテ此ノ問題モ取上ゲテ、糧食食糧管理法ノ改正ニ依リマシテ取組ムコトニ致シタノデアリマスガ、結局實方モ出ス方モ、要求サレル方ニ付キマシテハ、色々弱イ立場モアルノデアリマスガ、結局出ス方モ、又取ル方モ此ノ遵法精神ト云フモノガ缺如シ、又第三者モソレガ缺如シテ居ル、只今御述べニナリマシタヤウニ、知人ノ方デサウ云フ方ガ居ラレト云フ場合ニ、唯ソレハ承知シテ居ラレマスケレドモ、之ニ對シテモアリ不思議トモ思ハナイト云フヤウナ一般ノサウ云フモノハ寧ろ役所ノ立場カラ、結局サウ云フ事態ヲ知り得レバ、折角サ

ウ云フ取締ノ途モ設ケタノデアリマス
カラ、具體的ニ此ノ人間ト云フヤウナ
コトガ知り得ル機會ガゴザイマスレバ
色々ノ考慮シ、又一殺自戒ト申シマ
スカ、サウ云フ風ニ仕向ケテ參ル機會
モ猶ミタイト考ヘテ居ル次第ゴザイ
マス

ソレカラ高知縣ノ早場米ノ問題ハ、
ハ全國ノ問題トシテ取扱フ必要ガ
アルヤウニ私モ今伺ヒマシテ感ジマス
ルノデ、是ハ一般ノ早場米ニ付テ措置
ヲ講ジマスル時ニハ、同様ノコトヲ考
慮スルヤウニ食糧管理局方面ニモ研究
ヲサセタイト考ヘテ居リマス

○氏原委員 根本的ナ問題ニ付テハ非
常ニ不滿ノ點ガ多クデスケレドモ、
梶見サンデハ林政關係ノコトガオ分リ
ニナラヌヤウデアリマスカラ、別ノ機
會ニ根本的ノコトヲ御伺ヒスルコトニ
シテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○馬越委員長代理 杉田一郎君

○杉田委員 私ハ本委員會モ丁度私ヲ
以テ最後ノ質疑者ト考ヘラレマスノ
デ、簡單ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、
根本ノ問題ト致シマシテハ、此ノ食糧
緊急措置令ト云フ惡法ハ是非トモ撤廢
シテ救キタイト云フノデアリマスガ、
是ハ既ニ撤廢シナイト云フ政府ノ言明
モアリマス、併シテ法ハ法トシテ存置シ
テ置キマシテモ、其ノ運用ニ依ツテ法
ガナイヤウナ風ニ食糧政策ヲ變ヘテ行
ク、所謂此ノ措置令ヲ用ヒナイデ宜イ
ヤウナ風ニヤツテ行クト云フヤウナ御
話ゴザイマスケレドモ、果シテ此ノ
措置令ヲ使ハナイデ宜イヤウナ食糧政
策ト云フモノハドウ云フモノデア
ルカ、私ハ其ノ點ヲ一ツハツキリ御伺
ヒシテ置キタイト思ヒマス

○梶見政府委員 是ハ大臣モ申上ゲマ
シタヤウニ、食糧需給ノ問題ハ結局増
産ヲ主體ニセザルヲ得ナイノデアリマ
ス、一面ニ於テ増産ガ可能ニナリマス
ルヤウニ、土地ノ改革ノ問題ニ致シマ
シテモ、技術振興ノ問題ニ致シマシテ
モ、現ニ御承知ノヤウナ方向デ以テ進
ンデ居ルノデアリマス、併シテ一面ニ
於キマシテ食糧ノ需給關係ガ昔ノヤウ
ニ自由ナ狀態ニ戻ルト云フコトニハ、
中々現在ノ所デハ難カシイト思フヤウ
ナ狀況デアリ譯デアリマス、隨テ全體
ノ需要ノ調節カラ現在ノヤウナ供出制
度ガ續ケラレルト云フ場合ニハ、ドウ
シテモ斯ウ云フヤウナ措置ガ裏打トシ
テ御諒承願ハナケレバナラヌ、併シ根
本ハ今申シマスヤウニ増産ニ努力ヲ注
イデ參ル、又ソレニ依ツテ少シデモ需
給關係ノ改善ノ方途ヲ講ジテ參ル、斯
ウ云フコトニナルカト存ジマス

○杉田委員 食糧増産ニ依ツテ、此ノ
法ノ運用ハ唯法トシテ止メテ置クダケ
デアルト云フ御答辯デアリマス、洵ニ
結構ナ御答ヘト思ヒマスケレドモ、併
シ從來マデノ戰爭中ノコトハ私ハ申シ
マセスガ、少クモ終戰後ニ於ケル政
府當局ノ農村ニ對スルヤリ方ト云フモ
ノハ、徹頭徹尾所謂農民ト云フモノヲ
欺瞞シテ居ル、瞞マシテ居ル、正直ナ
モノニ馬鹿ヲ見サセ放シシテ置ク是
デハ正直ナモノニ對シテハ餓死ヲサセ
ルト云フヤウナ結論ガ凡ル面ニ於テ
アルノデアリマス、例ハ此ノ六月デ
アリマシタカ、食糧ガ非常ニ危機ニ直
面シタコト云フノデ、之ニ對シマシテ農
家ニ於キマシテ所謂救國米ト致シマシ
テ、麥ノ供出ヲ自主的ニヤツタ、所謂生
産者トシテ持ツテ居ル餘分ナ二十年度
ニ獲レマシタ麥ヲ供出致シマシタ、此
ノ生産者ノ販賣價格ト云フモノハ一俵

三十二圓計算サレテ買上ゲラレテ居
ル、併シ先程志賀君カラモ申サレマシ
タ所謂隠匿減額シテ居テ摘發サレ、サ
ウシテ所謂賣渡命令ニ依ツテ取ラレ
所ノ麥ハ一俵九十二圓、所謂現在ノ
國家ノ食糧危機ヲ本當ニ同胞愛ニ依ツ
テ體驗致シマシテ、自主的ニ之ヲ出シ
タ其ノ麥ノ値ガ三十二圓デアツテ、多
ク所有シテ居ツテ摘發マツテ、所謂賣渡
命令ニ依ツテ納サレモノガ九十二圓
ト云フコトニナツテ居リマス、是デ
ハ百姓ハ飽クマデモ殺ケテ、サウシテ
此ノ措置令ニ依ツテ出サセラレタ方ガ
高ク賣レルト云フヤウナ結果ニナルト
思フノデアリマス、此ノ點ドウ云フ譯
デスウ云フ風ナ差ヲ付ケタノデア
ルカ、一寸一ツ伺ヒタイ

○梶見政府委員 其ノ問題ハ生産者價
格ト消費者價格ニ於テ相違ガゴザイマ
スモノニ付テハ隠匿減額ノ摘發ニ於キマ
シテ、各方面ニ互ツテサウ云フ問題ガ
アルノデアリマスガ、只今ノ御話ノ麥
ノ價格ハ、昨年ノ生産者價格デ以テ生
産農家カラ供出ヲ仰イデ居ツタノデア
リマス、隨テ先ニ出シタ農家ト後ニ出
シタ農家ト、各農家ノ間ニ於テ差等ガ
ゴザイマセヌヤウニ、生産者價格ヲ一
本デズツトヤツテ參ツテ居ルノデアリ
マス、勿論米ノヤウニ後デ價格ヲ上ゲ
マシタ場合ニハ、先ニ出シタ農家ガ馬
鹿ヲ見ナイヤウニ、適ツテ補償ヲ給付
致シテ居ルノデアリマス、唯消費者方
面ニ於ケル隠匿減額ノ摘發價格ニ付キマ
シテハ、結局ハ消費者價格ト云フモノ
ニ準據セザルヲ得ナイノデアリマス
ス、今御話ノ如ク其ノ面カラ見マスル
ト、非常ニ生産者ト消費者トノ間ニ價
格ノ差面ニ於テ大キナ不正ト申シマ
スカ、差ガアルヤウニ思ハレルノデア

リマス、併シソレノ一面ニ立ツテヤ
ツテ參リマスルト、ドウシテモサウ云
フヤウナモノニ準據セザルヲ得ナイヤ
ウナ實情ニナツテ居リマスノデ、其ノ
邊ノ事情ハ能ク御諒承願ヒタイト思フ
ノデアリマス

○杉田委員 此ノ問題ハ私農村ノ農民
ノ方カラ、度々痛烈ニ言ハレマスノデ
御伺ヒシタノデアリマスガ、理窟カラ
考ヘテモ生産者ノ價格一本デ行クト云
フノハ當ヲ得タ話デアリマスガ、反面
ニ於テ法ヲ破ツテ賣渡メタモノニ對ス
ル賣渡命令ニ依ルモノハ、九十二圓ト
云フ格モ三倍ニモナル所ノ値段デ以テ
買上ゲルト云フコトハ、所謂國法ヲ破
ツテ、サウシテ食糧ヲ自分ダケガ宜イ
ト云ツテ「ストック」シタ者ノ米ハ高
ク買ツテヤル、寧ろ是ハ私ハ反對ダト
思フ、所謂サウ云フ者ニ對スル賣渡命
令ニ依ツテ出シタ米ト云フモノハ、寧
ろ是ハ只デモ宜イデヤナイカ、ソレニ
九十二圓ト云フ仕切ラシテ、生産者ガ
今ニナツテ本當ニ同胞愛ニ燃エテ自主
的ニ、俺ノ家ニハ一俵ノ餘分ノモノガ
アツタ、二俵ノ餘分ノモノガアツタト
云ツテ出シテ下サル米ニ對シテハ、依
然トシテ三十二圓ト云フ、斯ウ云フ風
ナ九デアベコベナ凸凹ナヤリ方、是ガ
所謂政府ノヤリ方ニ對シテ農民ノ不信
ヲ買フ所以デアルト、私ハ斯ウ考ヘテ
居ル、ソレデ此ノ緊急措置令ニ付キマ
シテモ、サウシタ結論カラ致シマシ
テ、私ハ是ハ先程農家ノ増産ニ依ツテ
之ヲ解決スルト言ヒマスガ、増産ヲ阻
碍スルコトハアツテモ、斯ウシタ法令
ハ決シテ増産ヲ獎勵スルト云フモノデ
ナク、又食糧問題ヲ解決スベキモノデ
ナイト云フコトヲ、私ハ意見トシテ茲
デ申上ゲマシテ、質疑ヲ打切りマス

○馬越委員長代理 坂本實君
○坂本委員 既ニ各委員カラ主トシテ
農村問題ニ關シマシテ種々御質疑ガ
ザイマシタノデ、私ハ水産關係ニ付キ
マシテ、聊カ政府ノ所見ヲ御尋ネ申上
ゲタイト存ジマス、其ノ第一點ハ水産
行政ノ強化擴充ト云フ問題ゴザイマ
ス、政府ハ水産資源ノ開發ニ關シマシ
テ、果シテドノ程度ノ積極的ナ具體案
ヲ持ツテ居ラレルト云フコトニ付キ
マシテ御尋ネ申上ゲタイ、先日ノ本會
議ニ於キマシテ吉田首相、和田農相ノ
施政演說ノ中ニモ、此ノ食糧危機突破
ノ爲ニ、水産物ノ重要性ヲ強調サレテ
居リマスガ、私ハ今日マデ何等見ルベ
キ具體的ナ政策ヲ示サレナイコトヲ甚
ダ遺憾ニ思フモノデアリマス、所謂主
要食糧、即チ米、麥、穀類等ノ農産物
ノ確保ガ絕對ニ必要デアリマスルコト
ハ、申スマデモナイノデアリマスル
ガ、地上ノ產物ニハ自ラ限リモアリ、
未開拓地ノ開發ニモ時間的ニ餘裕ガナ
ク、集約的農業ニモ奇蹟的ナ增收ハ望
ミ得ナイノデアリマス、元來足ヲヌモ
ノガサウ容易ニ足ルヤウニハナラヌノ
ガ常デアリマシテ、容易ナラ不足ハ既
ニ疾クニ解決サレテ居ル筈デアリマ
ス、私ハ此ノ際無盡藏トモ申スベキ水
産物ニ對シマシテ、モット調期的ナ政
策ヲ熟望シテ已マナイ者デアリマス、
農業ト力ヲ併セテ、此ノ水産物資源デ
補ヒマスルナラバ、食生活ニ行詰リハ
ナク、今ヤ食糧問題解決ニ水産物ノ受
持ツ宿命的ナ役割ヲ最重要視スル機運
ハ、全國的ニ熟シツ、アルノデアリマ
ス、即チ水産物ハ必ず還元シテ農家ノ
血トナリ肉トナリ、農産物ノ増加ヲ助
ケ、農産物ノ供給ガ再び水産ニ還元シテ
水産物増産ヲ助ケマス、此ノ交流循環

○梶見政府委員 其ノ問題ハ生産者價
格ト消費者價格ニ於テ相違ガゴザイマ
スモノニ付テハ隠匿減額ノ摘發ニ於キマ
シテ、各方面ニ互ツテサウ云フ問題ガ
アルノデアリマスガ、只今ノ御話ノ麥
ノ價格ハ、昨年ノ生産者價格デ以テ生
産農家カラ供出ヲ仰イデ居ツタノデア
リマス、隨テ先ニ出シタ農家ト後ニ出
シタ農家ト、各農家ノ間ニ於テ差等ガ
ゴザイマセヌヤウニ、生産者價格ヲ一
本デズツトヤツテ參ツテ居ルノデアリ
マス、勿論米ノヤウニ後デ價格ヲ上ゲ
マシタ場合ニハ、先ニ出シタ農家ガ馬
鹿ヲ見ナイヤウニ、適ツテ補償ヲ給付
致シテ居ルノデアリマス、唯消費者方
面ニ於ケル隠匿減額ノ摘發價格ニ付キマ
シテハ、結局ハ消費者價格ト云フモノ
ニ準據セザルヲ得ナイノデアリマス
ス、今御話ノ如ク其ノ面カラ見マスル
ト、非常ニ生産者ト消費者トノ間ニ價
格ノ差面ニ於テ大キナ不正ト申シマ
スカ、差ガアルヤウニ思ハレルノデア

○杉田委員 此ノ問題ハ私農村ノ農民
ノ方カラ、度々痛烈ニ言ハレマスノデ
御伺ヒシタノデアリマスガ、理窟カラ
考ヘテモ生産者ノ價格一本デ行クト云
フノハ當ヲ得タ話デアリマスガ、反面
ニ於テ法ヲ破ツテ賣渡メタモノニ對ス
ル賣渡命令ニ依ルモノハ、九十二圓ト
云フ格モ三倍ニモナル所ノ値段デ以テ
買上ゲルト云フコトハ、所謂國法ヲ破
ツテ、サウシテ食糧ヲ自分ダケガ宜イ
ト云ツテ「ストック」シタ者ノ米ハ高
ク買ツテヤル、寧ろ是ハ私ハ反對ダト
思フ、所謂サウ云フ者ニ對スル賣渡命
令ニ依ツテ出シタ米ト云フモノハ、寧
ろ是ハ只デモ宜イデヤナイカ、ソレニ
九十二圓ト云フ仕切ラシテ、生産者ガ
今ニナツテ本當ニ同胞愛ニ燃エテ自主
的ニ、俺ノ家ニハ一俵ノ餘分ノモノガ
アツタ、二俵ノ餘分ノモノガアツタト
云ツテ出シテ下サル米ニ對シテハ、依
然トシテ三十二圓ト云フ、斯ウ云フ風
ナ九デアベコベナ凸凹ナヤリ方、是ガ
所謂政府ノヤリ方ニ對シテ農民ノ不信
ヲ買フ所以デアルト、私ハ斯ウ考ヘテ
居ル、ソレデ此ノ緊急措置令ニ付キマ
シテモ、サウシタ結論カラ致シマシ
テ、私ハ是ハ先程農家ノ増産ニ依ツテ
之ヲ解決スルト言ヒマスガ、増産ヲ阻
碍スルコトハアツテモ、斯ウシタ法令
ハ決シテ増産ヲ獎勵スルト云フモノデ
ナク、又食糧問題ヲ解決スベキモノデ
ナイト云フコトヲ、私ハ意見トシテ茲
デ申上ゲマシテ、質疑ヲ打切りマス

○馬越委員長代理 坂本實君
○坂本委員 既ニ各委員カラ主トシテ
農村問題ニ關シマシテ種々御質疑ガ
ザイマシタノデ、私ハ水産關係ニ付キ
マシテ、聊カ政府ノ所見ヲ御尋ネ申上
ゲタイト存ジマス、其ノ第一點ハ水産
行政ノ強化擴充ト云フ問題ゴザイマ
ス、政府ハ水産資源ノ開發ニ關シマシ
テ、果シテドノ程度ノ積極的ナ具體案
ヲ持ツテ居ラレルト云フコトニ付キ
マシテ御尋ネ申上ゲタイ、先日ノ本會
議ニ於キマシテ吉田首相、和田農相ノ
施政演說ノ中ニモ、此ノ食糧危機突破
ノ爲ニ、水産物ノ重要性ヲ強調サレテ
居リマスガ、私ハ今日マデ何等見ルベ
キ具體的ナ政策ヲ示サレナイコトヲ甚
ダ遺憾ニ思フモノデアリマス、所謂主
要食糧、即チ米、麥、穀類等ノ農産物
ノ確保ガ絕對ニ必要デアリマスルコト
ハ、申スマデモナイノデアリマスル
ガ、地上ノ產物ニハ自ラ限リモアリ、
未開拓地ノ開發ニモ時間的ニ餘裕ガナ
ク、集約的農業ニモ奇蹟的ナ增收ハ望
ミ得ナイノデアリマス、元來足ヲヌモ
ノガサウ容易ニ足ルヤウニハナラヌノ
ガ常デアリマシテ、容易ナラ不足ハ既
ニ疾クニ解決サレテ居ル筈デアリマ
ス、私ハ此ノ際無盡藏トモ申スベキ水
産物ニ對シマシテ、モット調期的ナ政
策ヲ熟望シテ已マナイ者デアリマス、
農業ト力ヲ併セテ、此ノ水産物資源デ
補ヒマスルナラバ、食生活ニ行詰リハ
ナク、今ヤ食糧問題解決ニ水産物ノ受
持ツ宿命的ナ役割ヲ最重要視スル機運
ハ、全國的ニ熟シツ、アルノデアリマ
ス、即チ水産物ハ必ず還元シテ農家ノ
血トナリ肉トナリ、農産物ノ増加ヲ助
ケ、農産物ノ供給ガ再び水産ニ還元シテ
水産物増産ヲ助ケマス、此ノ交流循環

ハツキリシタコトヲ申上ゲル域ニ達
テ居リマセズ

○坂本委員 次ニ水産業團體法ノ問題
デアリマスガ、是ハ戰時中ノ所産デア
リマシテ、急速ニ民主的ナ性格ニ改
シテ、而モ其ノ健全ナル發達ガ我ガ國
水産業ノ根本對策ヲ確立シ、一面國
給食ニ、給養ニ資シ、一面國富ノ増
ニ貢獻スル所以デアルト思ヒマスガ
之ヲ改正スル御意思ハナイカ、而モ現
在存任致シテ居リマス各團體、各知

合 齋樹樺ハ節リニモ屋上屋ヲ重テ
居ル憶ミガアリマス、鮮魚ノ如キ迅速
ナル處置ヲ必要ト致シマスルモノニ付
キマシテハ、到底其ノ活潑ナル運営
望ミ得ナイト思フノデアリマス、過
來水産物統制規則ノ問題ニ付キマシ
モ種々御話ガゴザイマシタガ、私ハ
口現狀ノ姿ニ於キマシテハ撤廢シタ
ガ宜イノデハナイカト思フノデアリ
スガ、政府ノ御答辯ニ依リマスト、
外ス時期デナイト云フヤウナ御話デ
ッタノデアリマスガ、昨年ノ十一月
十日ニ統制ノ枠ヲ外サレマシタ、是
過般ノ厚生大臣ノ御話モアリマシタ
カ、

ウニ統制ノ短所カ極端ニ現レタ
云フコトモ一ツノ理由デアツタト云
風ニ伺ツタノデアリマス、然ルニ其
後三月十六日ニ至リマシテ再統制ヲ
施サレタノデアリマス、統制撤廢當
ニ於キマスル業者ノ錯謬モ多分ニ手
ツテ居ルト思ヒマスルガ、今日ノ實
ヲ見マスルノニ、實際ニ於テ其ノ實
舉ツテ居ラナイト思フノデアリマス、
而モ又此ノ關係ノ統制團體ハ、實際
於テ集荷ノ實力ヲ持チマセズ、又未
ノ配給ニ携ハツテ居リマスル組合
モ、獨占ノ弊害ニ陥リマシテ、道
心ノ缺カモ致シテ居リマスル關係上

鮮度ヲ生命ト致シマスル配給上ニ甚ダ遺憾ノ點ガ多ク、割當ヲ基準ト致シマスル配給權ハ拋棄シテモ、寧ろ自由市場ノ高クテモ自分ノ好ミノモノヲ買ツル方ガ宜イト云フヤウナ實情ニアルノデアリマシテ、極端ニ申シマスルナラバ、不買同盟モ起ツテ居ルカノヤウニ聞及シテ居ルノデアリマスガ、私ハ斯カル統制ハ官ノ威信ニモ關係致シマスルシ、且ツソレガ取締モ出來ナイト云フヤウナ實情デアリマスルナラバ、寧ろ撤廢シテ方ガ宜イノデヤナカ、斯ウ云フヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、併シナガラ既ニ政府ノ所見ヲ明カニサレマシタヤウニ、此ノ儘存続シテ行クト云フコトデアリマスルナラバ、少クトモ現在ノ機構ヲモウ少シ變ヘナケレバイケナイ、或ハ生産者カラ直賣スル形式ト申シマスルカ、詰リ段階ヲ極端ニ少クシテ行クト云フヤウナコトニ致シマシテ、此ノ特別ナ性質ヲ持ツテ居リマスル鮮魚ノ扱ヒニ付キマシテハ、尙ホ萬全ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ入レテ參ツテ居リマスノハ、集荷ノ間題デアリマス、此ノ集荷ノ統制ノ間題モ、御承知ノ通り全國津々浦々ノ沿岸カラ獲レル魚ヲ、全部一尾殘ラズ統制ノ枠ニ嵌メヨウト考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、司令部ノ好意ニ依リマシテ、現在一萬ト強ノ油ヲ賣ツテ居リマスガ、此ノ油ヲ賣リニ致シマシテ、油ト「リンク」致シマシテ、經濟的ナ裏打ノアル限度ニ於テ統制ヲ致シテ居ルノデアリマス、詰リ陸揚地ヲ一應指定致シマシテ、此ノ主要ナル陸揚地ニ入シテ來ル魚ノミヲ統制致シ、其ノ代リ其ノ魚ニ對シテハ油ヲ渡スト云フ仕組ニ依ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ小型ノ漁業ニ依ル普

通ニ方々ノ濱デ揚ルヤウナ魚マデ統制ヲシヨウト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、結局スル所大消費地、或ハドウシテモ他カラ運ンデ來ナケレバナラナイト云フ地方ニ對スル供給ヲ確保スル意味ニ於テ、油ヲ裏打ニシテモ、無理ノナイ統制ト云フコトデ現在續ケテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思フデアリマス、サウシテ之ヲ末端ニ渡ス場合ニドウスルカト云フ問題ハ、私トシマシテハ、恆久ノ統制ノ問題トハサウ直接深イ關係ヲ持タズニ、自由ニ考ヘテ宜イノデハナイカト思フノデアリマシテ、集荷ノ統制ハ現在ト致シマシテハ、是ハ勿論續ケテ參ツナケレバナラナイケレドモ、末端ニ於ケル配給ニ付テハ、何時マデモ之ヲ割當制ニ依ルヤウナ所謂配給ヲ續ケテ行カケレバナラナイモノダトハ深ク考ヘテ居ラナイノデアリマス、特ニ此ノ五、六月ニ於ケルヤウナ際ニアリマシテ、資材モ相當出廻リマシタシ、漁獲ニモ惠マレマシテ、特ニ東京ニ於ケル入荷ハ相當ニ多カッタノデアリマス、サウ致シマス、坂本サンノ御指摘ノヤウニ、或ハ隣組等ニ於テハ漁獲ノ關係モアリマシテ、二日ニ一遍或ハ三日ニ一遍ト云フヤウナ配給デハ、五百圓生活ニ耐ヘラレナイト云フヤウナ向キモアリマシテ、配給辭退ト云フヤウナ聲モ我々ハ聞イテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ末端ニ於テハ或ハ之ヲ自由販賣ノ機構ヲモツト適當ニ育成シテ行ク、今御話ノ通りニ、生産者ノ直賣制度ヲ設ケルトカ、或ハ又統制會社ノ模範店舖ヲ設ケルトカ、數リ殖ストカ云フヤウナ方法ニ依リマシテ消費者ノ不便ヲナクシ、或ハ積極的ニモツト魚ハ魚ラシイ配給組織ニ持ツ

テ行クト云フヤウナコトモ當然考ヘテ宜イト思ツテ居リマス、但シハ漁獲量ト睨ミ合セナガラ考ヘテ行カナイト、金ノアル者ノミガ買ヘルト云フ弊害モ拓キマスノデ、其ノ邊モ可ナリ弾力性ノアル考ヘ方デ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○坂本委員 最後ニ現在ノ段階ニ於キマシテハ、水産ノ加工製品ト云フモノノ重要性ヲ考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、政府ノ適切ナル施策ガ急速ニ實施セラレシコトヲ要望致シマシテ、政府ノ御考ヘ方ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、先程農林次官ノ御話ニモ、水産物が主食ノ綜合配給計畫ト云フコトノ中ニ相當重要性ヲ持ツテ織込マレテ居ルト云フコトヲ御話ニナツタノデアリマスガ、要スルニ各家庭ニ出來得ル限り普遍的ニ配給サレルト云フコトガ理想ダト思フノデアリマス、然ルニ現實ノヤウナ姿ニ於テハ集荷ノ問題ヲ輸送ノ問題等デ未ダニ偏流シテ居ル、而シテ計畫ノ實施ヲ阻シテ居ルト云フ實情ナノデアリマス、急ガバ廻ハレトモ申シマスガ、適當ナ魚種、大量ノ魚獲物ニ付テハ簡單ナ處理加工ニ依ツテ保存性ヲ與ヘテ、取扱上ニモ便利ニシ、農山村ニモ喜バレル配給ガ肝腎ダト思フノデアリマス、隨テ又一面國民ノ食生活ニモ限リノアル量ヘノ依存ヲ一擲シテ、質ヘノ轉換ヲ誘導シテ、食糧問題ニ對スル不安ヲ除去シタイト考ヘルノデアリマス、鮮度ヲ生命トスル魚介類ノ配給ハ實ニ難カシイ、兎角計畫性ヲ失フ處ノアルコトハ、先ニ申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ場合政府ハ少クトモ水産物ノ加工ト云フコトニ付テモ、積極的ナ施策ガ欲シイト思フノデアリマス、其ノ意味

ニ於キマシテハ、全國的ニ製氷ノ設備或ハ冷凍、鹽藏、乾藏或ハ結露等ノ水産製品ノ劃期的ナ増產ヲ圖ル必要ガアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シマスル政府御當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○三堀政府委員 御話ノ點ハ我々モ大體ニ於キマシテ同感ニ存スルノデアリマスガ、唯問題ハ、今マデノ所デハ御承知ノ通り如何ニ生ノ魚ヲ出來ル限リ多量ニ、申シマスヨリモ、需要ニ幾ラカデモ應ズル程度ニ供給スルカト云フコトニ、實ハ精一バイデアツタノデアリマシテ、積極的ニ將來ノ問題等ヲ考ヘナガラ、加工ニ付テハハツキリシタ、腰ヲ据エタ計畫ヲ立テルマデニ漁獲ガ遺憾ナガラナカッタト云フ實情デアルト云フコトハ御理解ヲ願ヘルト思フノデアリマシテ、先程申シマシタヤウニ、最近漸ク軌道ニ乘ツテ來タ此ノ情勢ヲ圖マヘテ、特ニ簡易加工ヲ中心ニシテ、年間平均シテ質ノ良イ動物蛋白ノ供給ヲ目指シテ進ムト云フコトニ付テハ、勿論考ヘテ參リタイト思ツテ居リマス、唯ソレニ付テモ、魚獲ガ順調ニ進ンダトハ言ヒナガラ、サウ云フ簡易加工ヲ考ヘルコトニナリマス

ト、問題ハ鰯デアリマスレドモ、鰯ノ量ガマダ寡エテ參ラヌノデアリマシテ、此ノ點ハ非常ニ残念ニ思ツテ居ル次第デアリマス、御承知ノ通り戰前鰯ノ量ノ多カッタ時分ニ於キマシテハ、殆ド全魚獲ニ對スル四割以上ノモノガ鰯ニ依ツテ占メラレテ居ッタノデアリマス、其ノ結果質ノ良イ加工モ出來テ居リマシタケレドモ、鰯ノ量ガ少イト云フコトガ、全體トシテノ魚獲ニモ影響スルコト云フ實情デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ非常ニ残念ニ思ツテ居ル次第

○三堀政府委員 團體法ノ問題ニ付キマシテハ、曩ノ通常議會デ農業團體ノ方ト關聯ヲ持チマシテ、役員ノ選舉、其ノ他差當リ團體ヲ戰時ノ統制色ノ非常ニ濃イ法制カラ民主化スル差當リノ措置デケラ一應講ジタ譯ナノデアリマシテ、是ハ根本的ニ民主化スベク當然考慮ヲ要スル問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、唯水産團體ノ關係ハ、御承知ノ通り漁業權ノ問題ト密接ナ關聯ヲ持ツテ居ル譯ナノデアリマシテ、御承知ノ通りニ地先水面ノ專用漁業權ハ、漁業會ガ免許ヲ受ケル唯一ノ資格ニナツテ居ル譯デアリマス、サウシマシテ此ノ

專用漁業權ノ問題ハ地元漁民ニ取リマシテ、其ノ生命ヲ左右スル重要ナ死活問題ナノデアリマシテ、此ノ團體ト此ノ漁業權トドウ云フヤウニ考ヘテ參ルカト云フコトハ、十分全國的ノ調査ニ依ル準備ガナクテハナラナイト思フテ居ルノデアリマシテ、團體法ニ漁業權ヲ將來民主的ニ持ツテ行カケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、十分ニ考ヘテ居ルノデアリマスレドモ、ソレニハ慎重ナ準備ヲ要シマス關係上、適當ナ速カナル機會ニ準備ヲ整ヘマシテ、御協賛ヲ得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ主トシテ鮮魚ノ統制ニ付テデアリマスガ、現在ノ問題ト致シマシテ、先般來カラ御議論ガ出マシタヤウニ、此ノ食糧ノ不足シテ居リマス時ニ於キマシテハ、少クトモ主食ニ關聯ヲ持チマシテ非常ニ重要デアリマス所ノ鮮魚ノ統制ヲ外スト云フコトハ、是ハ聊カ時機ヲ得ナイモノデハナイカト思フノデアリマスガ、唯我々ノ極メテ力ヲ入レテ參ツテ居リマスノハ、集荷ノ問題デアリマス、此ノ集荷ノ統制ノ間題モ、御承知ノ通り全國津々浦々ノ沿岸カラ獲レル魚ヲ、全部一尾殘ラズ統制ノ枠ニ嵌メヨウト考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、司令部ノ好意ニ依リマシテ、現在一萬ト強ノ油ヲ賣ツテ居リマスガ、此ノ油ヲ賣リニ致シマシテ、油ト「リンク」致シマシテ、經濟的ナ裏打ノアル限度ニ於テ統制ヲ致シテ居ルノデアリマス、詰リ陸揚地ヲ一應指定致シマシテ、此ノ主要ナル陸揚地ニ入シテ來ル魚ノミヲ統制致シ、其ノ代リ其ノ魚ニ對シテハ油ヲ渡スト云フ仕組ニ依ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ小型ノ漁業ニ依ル普

テ行クト云フヤウナコトモ當然考ヘテ宜イト思ツテ居リマス、但シハ漁獲量ト睨ミ合セナガラ考ヘテ行カナイト、金ノアル者ノミガ買ヘルト云フ弊害モ拓キマスノデ、其ノ邊モ可ナリ弾力性ノアル考ヘ方デ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○坂本委員 最後ニ現在ノ段階ニ於キマシテハ、水産ノ加工製品ト云フモノノ重要性ヲ考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、政府ノ適切ナル施策ガ急速ニ實施セラレシコトヲ要望致シマシテ、政府ノ御考ヘ方ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、先程農林次官ノ御話ニモ、水産物が主食ノ綜合配給計畫ト云フコトノ中ニ相當重要性ヲ持ツテ織込マレテ居ルト云フコトヲ御話ニナツタノデアリマスガ、要スルニ各家庭ニ出來得ル限り普遍的ニ配給サレルト云フコトガ理想ダト思フノデアリマス、然ルニ現實ノヤウナ姿ニ於テハ集荷ノ問題ヲ輸送ノ問題等デ未ダニ偏流シテ居ル、而シテ計畫ノ實施ヲ阻シテ居ルト云フ實情ナノデアリマス、急ガバ廻ハレトモ申シマスガ、適當ナ魚種、大量ノ魚獲物ニ付テハ簡單ナ處理加工ニ依ツテ保存性ヲ與ヘテ、取扱上ニモ便利ニシ、農山村ニモ喜バレル配給ガ肝腎ダト思フノデアリマス、隨テ又一面國民ノ食生活ニモ限リノアル量ヘノ依存ヲ一擲シテ、質ヘノ轉換ヲ誘導シテ、食糧問題ニ對スル不安ヲ除去シタイト考ヘルノデアリマス、鮮度ヲ生命トスル魚介類ノ配給ハ實ニ難カシイ、兎角計畫性ヲ失フ處ノアルコトハ、先ニ申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ場合政府ハ少クトモ水産物ノ加工ト云フコトニ付テモ、積極的ナ施策ガ欲シイト思フノデアリマス、其ノ意味

ニ於キマシテハ、全國的ニ製氷ノ設備或ハ冷凍、鹽藏、乾藏或ハ結露等ノ水産製品ノ劃期的ナ増產ヲ圖ル必要ガアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シマスル政府御當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

第アアリマス、併シナガラ鱈ハ鱈トシテ、段々魚獲ヲ殖エテ参リマシタナラバ、十分ノ設備ヲ整ヘテ、加工製品ニ付テモ考ヘテ進メテ参リタイト思フノデアリマス、又モウ一ツ御質問ニナリマシタヤウニ、製氷、冷凍設備ガ戰災ニ依ツテ相當傷ミマシテ、此ノ資材ガ特殊資材ノ關係デ非常ニ困難デアリマシテ、是モ亦特ニ夏分ニ控ヘマシテ、我々トシテモ頭ヲ悩マシテ居ル問題デアリマス、御話ノ點ハ我々モ大體ニ於テ異存ハナイ、同感ヲ表シ得ル次第デアリマス

○馬越委員長代理 北君

○北(政)委員 極メテ簡單デアリマスガ、大臣ガオイデニナラナケレバ十分ナ返事ガ何ハナイト思ヒマスガ、午前ノ苦米地サノ御質問ニ對シテノ御答辯ハ洵ニ重大ナモノト考ヘルノデアリマス、私ノ聽キ違ヘデアツテ呉レバ幸ヒダト思フノデアリマスガ、日本ノ食糧自給政策ニ付キマシテ、大臣ノ御話デハ、今ハ食糧ヲ努メテ増産シナケレバナラヌガ、將來外國トノ關係モ執レテ行キマス云フト、或ハ貿易關係其ノ他ニ於テ日本デノ食糧ヲ生産スルト云フコトガ極メテ不安デアルト云フ重大ナ御發議ガアツタノデアリマス、是ハ農業政策ノ根本ヲナスモノデアツテ、肥料問題ニ致シマシテモ、又土地問題ニシマシテモ、此ノ日本國民ガ國內ニ於テノ食糧ノ安全率ヲ持タヌ以上、問題ガ全然變ツテ來ルノダ、殊ニ戰爭ヲ抛棄シテ居リマス今日ノ日本ト致シマシテハ、是ハドウシテモ生存ノ必需物資デアル食糧ダケハ、日本國內デ生産シナケレバナラヌノデアアル、然ラバサウ困難ナモノカト言ヘバ、私共ハ大シタ心配ハナイト思フ、今其ノ

數ノ正確ナコトハ申サレマセヌガ、農林省ノ出シマシタ統計ニ依リマシテ、所謂外地ヲ除イテ昭和八年ニハ六千六百萬石ノ生産ト記憶致シテ居ルノデアリマス、又昭和十二年ニ於キマシテハ六千八百萬石ニナツテ居ル、斯ウ致シマス、何ニモ心配ハナイノダ、十分ナ肥料其ノ他ノ物ガ全部揃ヒマスナラバ、日本國內ノ食糧ニ於テ十分確保出來ル、何ヲサウ惧レルノカ、又「ダンピング」市場トナリマシテモ、ソレハ向フ側ノ壯次第二依ルノデアリマスカラ、ソレヲ惧レテ國內ニ於テ食糧ノ自給ガ出來ナイ政策ヲ執リマスナラバ大變ナコトデアアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、本年ノ食糧ニシマシテモ、四千萬石ソコノ生産デアアル、ソレカラ聯合國側デ決メテ呉レマシタ六十六萬「トン」、更ニ「フーヅァー」氏ノ御意見トシテハ八十七萬「トン」デアリマシテ、是ダケデ兎ニ角苦シイナガモ生キテ行クト致シマスルナラバ、極メテ少イモノデアリマス、四千六百萬石ソコソコデ済ムノデアリマス、日本ハ元ノ水田ノ儘デ、米ダケデ六千八百萬石出來テ居ルデアリマセヌカ、何モ根ルベキモノデナイ、ソコデソレヲドウシテモ他ニ求メナケレバナラヌ、食糧ヲ他ニ求メルコトヲ基礎トシテ行クナラバ、日本ノ産業ト云フモノハ總テ根柢カラ狂ツテシマフ、日本ノ今マデノヤリ方デハ、何時マデ經ツテモ拔ケナイモノデアアル、此ノ重大ノ御發議ガアツタノデアリマシテ、私ノ聽キ違ヒデアツテ呉レ、バ幸ヒダト思フノデアリマシケレドモ、若シ次官ガ御返答方面倒デアルナラバ、後デ大臣ト御相談ニナツテ、適當ナ機會ニハツキリシタ農

林省ノ態度ヲ決メテ貰ヒタイ、私ハ他ノ大臣ガ御言ヒニナツタノナラバ兎モ角、農林大臣ガ之ヲ御言ヒニナツタコトハ、實ニ重大ナコトト考ヘテ居ルノデアリマス、農業政策ノ根本ヲナスモノデアリマスカラ、ドウカハツキリトシテ戴キタイト思フノデアリマス

○楠見政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、從來カラモ大臣ト色々話合ヒマシテ居タコトデアリマス、先般私カラモ此ノ問題ニ付テ御答ヘシタコトガアリマス、其ノ際ノ經過モ大臣ニ申上ゲテ、意見ノ不一致ハナカツヘ申上ゲマシタモ、間諺ヒハナカラウト思ヒマス、苦米地サノ御答ニナリマシタ趣旨ハ、自給度ヲ高メルト云フコトデヤナク、必ズ日本ノ自給ヲスルノダト云フ方向デ多クノ農林政策ノ根本ニ關スル必要ガアルノデハナイカ、結局他カラ物ヲ多ク期待セズニ、日本ダケデ食ツテ行クノダト云フコトヲ目標ニスベキデアリナイカ、斯ウ云フ風ニ受取レル節ガアツタノデアリマス、實際ノ御考ヘハ、或ハ必ズシモサウデハナイカモ分リマセヌガ、得テシテサウ云フ風ニ聞キ取レルヤウナ御談議デアツタノデアリマス、私ノ先般申上ゲ又農林大臣ノ本日申上ゲテ居リマスコトハ、勿論ハ食糧ニ付キマシテハ最高度ニ自給度ヲ上ゲナケレバナラヌ、此ノ點ニ付テハ何等異存ハナイノデアリマシテ、隨テ其ノ問題ニ關聯シマシテ、私モ先般其ノ自給度ヲ上ゲル爲ニ是ハ苦米地サンカラモ御指摘ガアツタノデアリマスガ、從來未墾ノ地トシテ殘サレ、又我々トシテハ幸カ不幸カ今マデ殘サレテ居ル東北或ハ北海道方面ニ土

地ノ改善ノ餘地ヲ認メ、其ノ方ニ力ヲ注イデ行カケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ思ツテ居ルノデアリマスガ、唯議論ガ少シ行過ギマス、結局、例ヘバ滿ヲ作ツテ居ル、是ハ食糧輸入ヲスル爲ニ滿ヲ作ツテ居ルノデアリマス、是ハ見返リ物資トシテ最も重要ナモノデアリマスガ、併シソレナラ、輸入食糧ヲ期待スルヨリモ榮耀ヲ潰シテ食糧ヲ作レバ宜イデアリナイカ、サウシテ日本ハ自給體制ニ整ラニ進ンデ行クベキデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議論ガ進ミ易ク、又聞ク人ニ依リマシテハサウ云フ風ニ聞エルノデアリマス、ソコマデ考ヘルコトハ結局行過ギデハナイカ、勿論最高度ニ自給度ヲ上ゲルト云フコトハ必要デアルケレドモ、併シ又一面ニ於テハ適地適作ト云フコトモアルノデアリカラ、將來ノ日本ノ産業ナリ、經濟ノ國際市場ニ於ケル在リ方、國內的ニ申セバ日本ノ産業經濟ノ在リ方、適地適作ト云フヤウナ觀點ヲ能ク考慮ニ入レテ、サウ一概ニ一本槍ニ進ムト云フコトハ困難デヤナイカ、サウ云フ事情モ能ク考慮シテヤラナケレバナラナイノデアリナイカ、併シ根本ノ考ヘハ自給度ヲ出來得ル限リ上ゲルト云フ點ニ於テハ間違ヒノナイ所デアアル、斯ウ云フ風ニ御答ヘヨシテ居ルノデアリマス、若シ誤解ガアリマスレバサウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

○馬越委員長代理 ソレデハ質疑ハ大體本日ヲ以テ打切りマシテ、明日十一時カラ政府委員ノ除キマシタ委員ノ協議會ヲ開クコトニ致シマシテ、午後三時カラ委員會ヲ開催致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時五十八分散會

昭和二十一年八月五日印刷

昭和二十一年八月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局